

**令和4年度**

**スクール読書チャレンジ運動**

**実践事例集**

**佐賀県県民環境部まなび課**

## 目次

各 賞		受賞校	ページ番号
入賞校	最優秀賞(1校)	佐賀市立勸興小学校	2-14
	優秀賞(2校)	佐賀市立中川副小学校	15-19
		佐賀県立盲学校	20-23
	敢闘賞(10校)	佐賀市立日新小学校	24-27
		佐賀市立久保泉小学校	28-32
		鹿島市立浜小学校	33-37
		小城市立三日月小学校	38-42
		小城市立晴田小学校	43-47
		嬉野市立大野原小学校・中学校	48-52
		有田町立有田中部小学校	53-57
		白石町立有明南小学校	58-60
		太良町立大浦中学校	61-65
		佐賀県立三養基高等学校	66-69
その他	佐賀市立南川副小学校	70-72	
	唐津市立巖木中学校	73-77	
	多久市立東原摩舎東部校	78-81	

令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀市立勤興小学校	担当者名	諸岡 麻由子(司書) 大西 章子(図書主任)
住所	佐賀市成章町3-16	電話番号	0952-24-4235

I. 取組前の宣言内容

宣言	目標	めざせ図書館マスター!!図書館へ行こう!楽しもう図書館!活用しよう図書館!
	取組期間	令和4年4月7日~11月30日

II. 取組後の評価

評価	取組人数	323人	実施日数	159日	読書冊数	33334冊	連携した団体数	53団体
	取組内容(概要)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 図書館環境を整える <ul style="list-style-type: none"> <li>・書架を分類番号順に並びかえる。</li> <li>・正しい廃棄を行う。</li> <li>・学級文庫を各学級へ配置する。</li> <li>・高い本棚は上の部分に本を配架しない。</li> <li>・別置資料にはシール等で案内する。</li> <li>・図書館配置図の作成。</li> </ul> </li> <li>2. 図書の授業の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の教科書に掲載された本や関連本をクラスへ貸出。</li> <li>・図書の授業で読み聞かせ。</li> <li>・分類番号を覚えてもらう学習。</li> </ul> </li> <li>3. 図書館に親しむための取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイントカードの導入(新)</li> <li>・図書館クイズ(新)</li> <li>・新聞の活用の導入(新)</li> <li>・図書委員会主導の図書館まつり</li> </ul> </li> <li>4. 関係機関との連携した取り組み(続)</li> <li>5. 教科等の授業と関連した取り組み(続)</li> <li>6. 夏休みの図書館活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み用ポイントカードの導入(新)</li> <li>・読書感想文の書き方プリント作成(続)</li> <li>・読書感想文の書き方ワークシート作成(新)</li> </ul> </li> <li>7. 読み聞かせボランティアとの連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読の時間に月に1回、朝読み聞かせを行う。</li> <li>・毎月木曜日に1・2年生対象にブックトークや読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター、エブロンシアターなどを行っていただく。</li> </ul> </li> </ol>						

工夫したこと

### 1. 図書館環境を整える

- ・分類番号が乱雑しており、資料を探すときに困難だったため、分類番号順に配架しなおした。
- ・別冊資料もなるべく分類番号に近いところに設置し、わかりやすいよう、ラベル近くにシールを貼り出した。
- ・背の高い書架に人気の本を配架されていたが、子どもたちの背では届かないため、本が動かされていなかった。上の部分は本を配架せず、面出しとして活用することにした。
- ・貸出時に現在の貸出冊数を伝えるようにし、子どもたちの意識が高まるように努めた。
- ・100冊貸出達成した児童にはミニ賞状を進呈し、達成する喜びを得られるようにした。また、「どくしょの木」に掲示することで子どもたちの肯定感を得られるようにした。
- ・毎月、学期毎に貸出冊数上位者、また、飛躍して貸出冊数が伸びた児童へミニ賞状としおりを贈呈し、図書館の廊下にも掲示した。児童の励みになっている。
- ・毎月、月毎に学級全体・個人の貸出冊数一覧を学級担任に提示した。また、0冊の児童がいた場合は貸出を促すようにした。

### 2. 図書の授業の取り組み

- ・国語の教科書に掲載された関連本を学級や学年に定期的にコンテナやブックトラックに貸出を行い、学習の幅を広げるよう行った。
- ・3年生までは図書の時間を毎週設けてもらい、図書の時間の導入として毎時間、読み聞かせを行った。
- ・分類番号について知らない児童が多かったため、分類番号について学習を行った。わかりやすいよう書架を分類番号順に並べかえた。本を元に戻すときにラベルを見て戻す意識付けを行うため、どこにしまうのか伝えるようにした。

### 3. 図書館に親しむための取り組み

- ・毎月初めにお誕生日の児童へ「おめでとうカード」と貸出券を贈呈。
- ・今年度は新しくポイントカードの発行をして、図書館に来る楽しみを増やした。1回の貸出につき、1ポイントを押印し、20ポイント毎に貸出券1枚のプレゼント。
- ・新聞の「松丸君のクイズ」を図書館にファイリングし、正解者には貸出券をプレゼントした。他にも、新聞の切り抜きをファイリングしたり、掲示したりしてテーマによって本と一緒に配置した。毎週、児童たちはクイズに挑戦したり、新聞の切り抜き特集を見たりして楽しみにしている。

・図書委員会主体の図書館まつりと図書館経営

- (ア)感染症対策を行ったうえで密にならないようなイベントを図書委員で意見を出し合い、みんなが楽しめるようなイベントを考え、6月(開催済)・11月(予定)の2回、開催。

(イ)ぬりえコンクール…図書委員が図書館にある本の中からぬりえの題材を

		<p>選び、手作りぬりえを作成。事前に用紙を自由に取ることができ、提出は1人1枚とし、提出した児童のぬりえを掲示した。結果は廊下にコピー作品と共に掲示。盛り上がりました。</p> <p>(ウ)題名バラバラタイズ…本の題名の言葉をバラバラに並び替え、正しい題名を選ぶ(1~4年)、または記入した(5・6年)</p> <p>(エ)〇×タイズ…図書館や資料に関するクイズを〇×方式で記入。図書館の正しい使い方を覚えてもらう意図があった。</p> <p>(オ)3ヒントクイズ…3つのヒントから何の本か題名を導くクイズ。どれだけ本を読んだことがあるかで答えることができるクイズとなっていた。</p> <p>(カ)好きな本コンテスト…初めての取り組みで、みんなに好きな本の題名を記入してもらい、好きな本のランキングを掲示した。廊下に掲示すると、自分が書いた本が何位だったのか気になり、たくさんの児童が見に来てくれてもりあがった。</p> <p>4. 関係機関との連携した取り組み(続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他校や市立図書館と資源を共有することで、授業等に必要な図書を正確に、かつ確実に用いることで、児童の知識・理解に努めた。</li> <li>(資源共有システムの利用による本校の図書資料をカバーする役割。)</li> </ul> <p>5. 教科等の授業と関連した取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科の関連本や新聞の切り抜き、リーフレットを用意し、コンテナやブックトラックで学級や学年へ貸出を行い、教科に深みをもたせた。</li> </ul> <p>6. 夏休みの図書館活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段のポイントカードとは別に夏休み用のポイントカードを作成・配布した。ポイント3個毎にくじ引きができるようにして、夏休みも図書館にくる楽しみを作った。</li> <li>・夏休みに図書館に来た児童の学習支援…自由研究や学習の手助けをレファレンスした。</li> <li>・夏休みは普段より利用者が少ないため、図書委員体験として「貸出・返却」を自分たちでやってみる体験イベントを行った。初めての体験に目を輝かせて喜んでくれた。</li> <li>・夏休みに入る前に読書感想文の書き方プリント及び、感想文を簡単に書くことができるようワークシートを作成し配布した。</li> </ul> <p>7. 読み聞かせボランティアとの連携</p> <p>朝の時間、地域ボランティアや保護者による読み聞かせ。</p> <p>月1回の木曜日に1時間(1・2年生対象)各クラス毎に読み聞かせ・紙芝居・パネルシアター・エプロンシアター等を行ってもらい、子どもたちの楽しみとなっている。</p>
	取組んだ感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より勸興小学校に赴任し、図書館に入ってから「見にくい・使いにくい・資料を探しにくい」といった印象を持った。他校から本校の図書館に訪れたほかの司書たちからも同意見をいただいた。そのため、本棚移動・書架配置換え・本棚から溢れた本を書架に収めた。また、本棚にぎゅうぎゅうと押し込</li> </ul>

	<p>まれた状況で本の出し入れが困難だったため、本棚に余裕を持たせた。</p> <p>また、素晴らしい資料が揃っているのにも関わらず貸出が行われていなかったため、面出し・POP 作成により子どもたちの読みたい気持ちを引き出した結果、面白いと読んでくれるようになった資料が多数出るようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館が近いため、自分たちで借りた資料や購入した資料を学校に持ってきている児童が多くおり、本をじっくりと読むことができる児童が多い学校だと感じたため、貸出冊数を重視するのではなく、自分にあった本を探すこと・本と向き合うことに重点をおいた図書館学習を行った。もちろん、初めて図書館に触れる児童もいるため、図書館来る楽しみや本を読む楽しみを知る学習も同時に行った。</li> <li>・分類番号について知らない児童が多かったため、請求記号の説明・ラベルの説明を行い、常に意識を持ってもらうよう声かけを行った結果、1年生でもラベルについて覚え自分たちで本を戻すことができるようになりはじめている。</li> <li>・自分たちで考え行動し、図書委員が主体となり休み時間の図書館運営を行っている。図書館まつりも図書委員が主体となり行うことができた。教員が側にいなくても、どう動いたらいいのか、自分たちより下の学年たちに教えたり案内したりすることができていた。</li> <li>・様々な取り組みを導入したことで「図書館って楽しい」と言ってくれる児童がたくさん増えた。また、レファレンスに力を入れるようになり本を紹介してほしいと気軽に申し出てくれる児童が増えた。</li> <li>・インターネットやスマホが普及する今、読書離れが心配されていますが、やはり児童たちは本が好きであり、読書意欲が高いと感じられた。</li> </ul>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書の楽しみだけでなく、図書館へ訪れる楽しみを体感してもらう。</li> <li>・図書館の使い方を学校で覚え、公共図書館及び、中学校・高校・大学へ進学した時に図書館を容易に使えるように学習する。</li> <li>・読み聞かせ等を継続することで、ことばの大切さ、ことばの使い方も伝えたい。</li> <li>・読書で心身の健康作り。</li> </ul>

## 図書館環境を整える

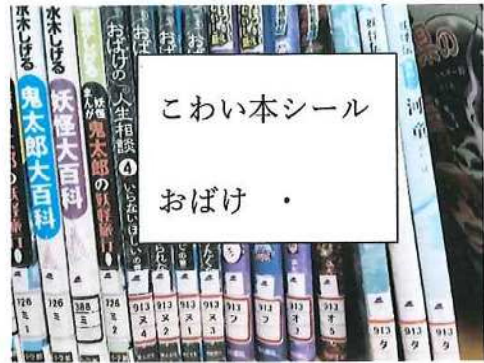


### 別置資料シール

環境・戦争・怖い本（おばけの絵）・人権・日本の昔ばなし・世界の昔ばなし・小さい絵本・各学年教科書掲載の本など別置資料にはシールを貼り、本棚にも案内を掲示している。分かりやすくなり、自分たちで間違えずに戻すことができるようになった。



戦争の本シール・



こわい本シール  
おばけ・

### 季節の本の展示

毎月、季節の本を展示して貸出を促している。普段、書架にあると借りられなくても、ここに展示されることで貸出につながっている。



### 本棚に余裕を

ぎゅうぎゅうに入れられた本棚に余裕を持たせ、展示も無かったので面出しをして貸出を促した。



普段あまり借りられない8類の本。面出し展示をすることで貸出につながっている。



## 新しい本の展示・テーマ展示

新しい本と共に、毎月テーマを決めて展示している。子どもたちは、まずこの本棚を見ることが多く、いつも空っぽになるほど人気の本棚となっている。

雑誌の切り抜きや時事問題、本に関する特集と共に展示すると貸出意欲が高鳴るようだ。

楽しい気持ちになるようとの願いで展示している。

夏休み前には読書感想文ワークシートと一緒に置いておくと手に取る児童が多数いた。



## 背の高い書架は配架せず、上を面出し展示書架として活用

背の高い書架は子どもたちにとって届きにくいもの。また、見にくいので、配架せず、面出し展示書架として活用。興味・関心を持ち、貸出につながっている。

## 雑誌の活用

本の近くに雑誌の切り抜きと共に展示。これまで貸出されていなかった資料の貸出につながっている。







## 新聞の活用

毎日小学生新聞の展示・切り抜きを展示して時事問題に興味関心をもたせている。

## 子ども新聞の活用

佐賀子ども新聞を自由に持ち帰ることができるように置いている。また、切り抜きと共に関連本を展示して貸出につなげている。



## 新聞の活用(人気編)

毎日子ども新聞に「もちもち♡ぱんだ」が毎週金曜日に掲載されている。ファイリングすることで読み返すことができ、子どもたちに大人気となっている。



## 新聞活用(考えよう!編)

毎日子ども新聞には毎週金曜日に松丸君のクイズが掲載されている。切り抜きにして掲示し、誰でも挑戦することができるようにしている。答えがわかったら解答用紙に記入して提出。正解していたら貸出券をプレゼントしており、子どもたちは毎週楽しみにしている。

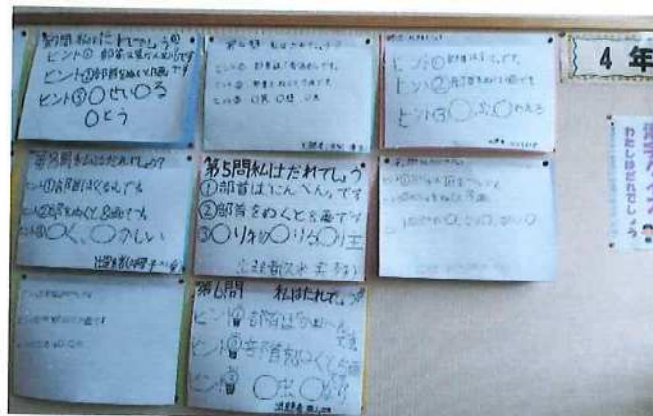
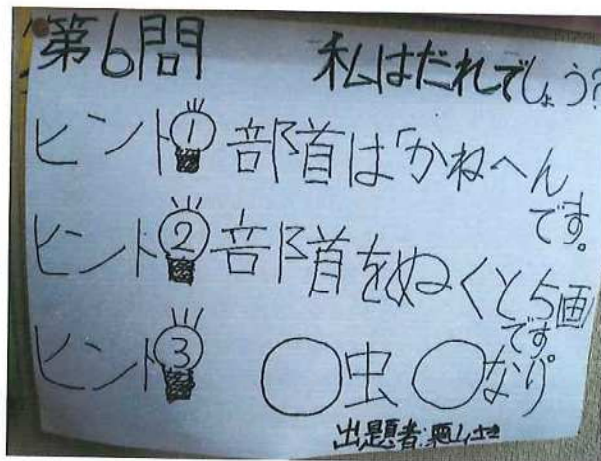
## 授業との連携

### 図書を活用

授業用貸出図書で作成した部首クイズ。4年生が1人1つずつ「漢字クイズ」を作成したもの。

全てに3つのヒントが書かれ、めくると答えが書かれる仕組みであり、それぞれに工夫がなされ、楽しいクイズとなっていた。

このクイズが出されたあと、漢字辞典や8類の本の貸出につながった。



## 図書館まつり

### ぬいえコンクール

上：学年別入賞者作品 下：作品別入賞者作品



## 好きな本コンテスト

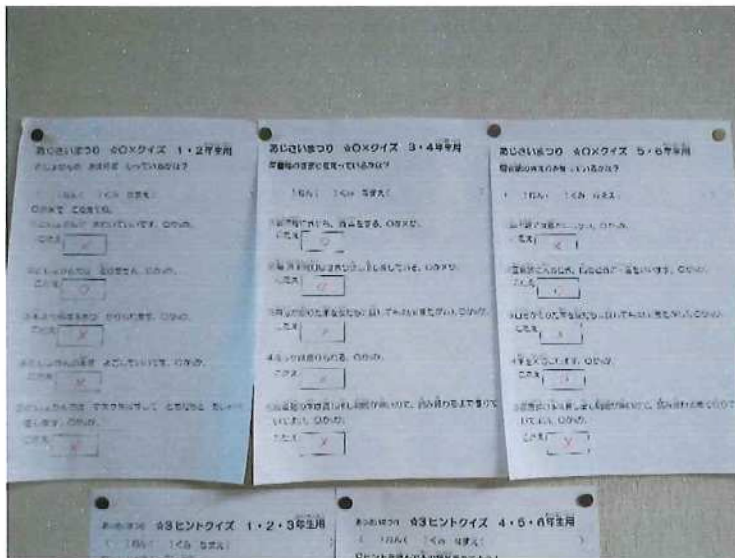
初めての取り組みだったが、図書委員が集計を頑張った。参加した児童たちも自分が投票した本が何位だったのか興味深く見ていた。

### 好きな本コンテスト

みんなの投票で決まった好きな本のランキングです。

1位	サバイバルシリーズ	14票	6位	日本の伝記	3票
1位	ほねほねザウルス	14票	6位	バムとケロシリーズ	3票
2位	おしりたんていシリーズ	13票	6位	ふしぎ駄菓子屋鉄天堂シリーズ	3票
3位	ひみつシリーズ	6票	7位	その他の絵本	2票
4位	ノラネコぐんだんシリーズ	5票	7位	笑い猫シリーズ (怖い本)	2票
4位	写集コレクター	5票	7位	一期一会シリーズ	2票
5位	かいけつゾロリシリーズ	5票	7位	らくだい魔女シリーズ	2票
5位	こわい絵本	4票	7位	世界の伝記	2票
5位	花子さんシリーズ	4票	7位	さんねんな生きもの辞典シリーズ	2票
5位	かいけつゾロリシリーズ	4票	7位	のりもの	2票
6位	きょうりゅうの本	3票	7位	グレッグのダメ日記	2票
6位	日本の古典	3票	7位	なぞなぞ (クイズ)	2票
			7位	小説	2票
			7位	おりがみ	2票
			7位	ヨシタケシンスケの絵本	2票
			7位	ポケモンの絵本	2票

たくさんのお票、ありがとうございました！

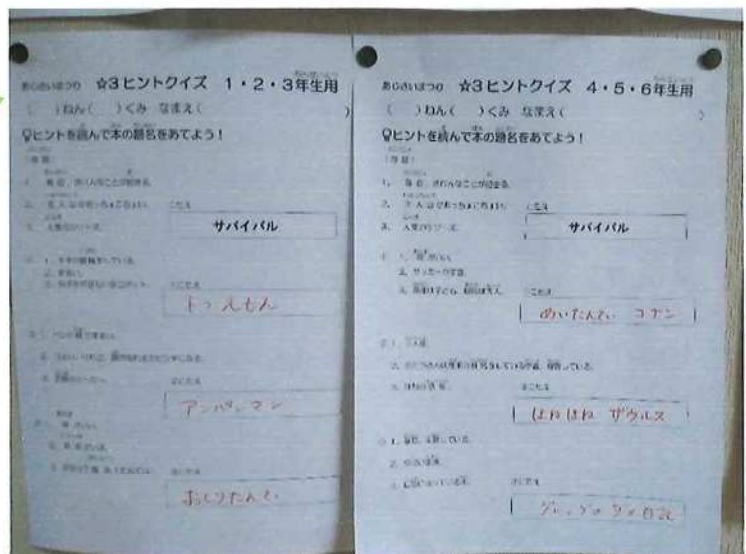


## O×クイズ

低・中・高学年にわけてクイズを行った。クイズで図書館のルール確認をすることができた。

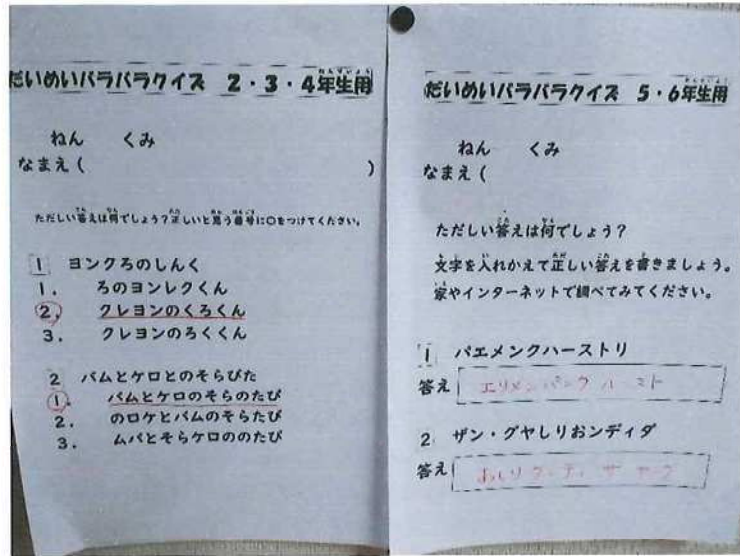
## 3ヒントクイズ

3つのヒントから本の名前をあてるクイズ。みんな楽しそうに解いていた。低学年はまだ、カタカナを習っていない時期だったので図書委員が手助けする場面も見られた。



## 題名ばらばらクイズ

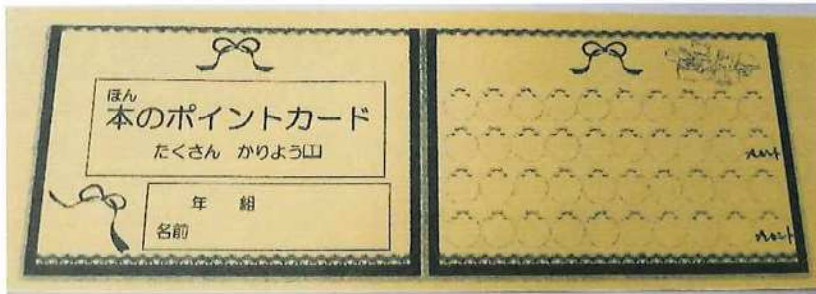
題名を並びかえて正しい題名を書くクイズ。なかなか難しい問題だったが、声に出しながら解く児童がたくさんいた。



## その他

### ポイントカード

本を借りにきたら1ポイントもらえる。20ポイント毎で貸出券1枚プレゼント。みんなポイントゲットを楽しみに来館している。



### 新しい本

あたらしい本が届いて貸出が開始されるまでの間、掲示してどんな本が入荷したか見ることができる。借りて読みたい欲求を掻き立てられ、他の本の読書意欲にもつながっている。



### 図書の時間にPOP作成

図書の時間にPOPを作成し、作成が終わった児童は発表する。「お友だちが書いた本はどれも楽しそう！」と貸出につながっている。

## 木曜日(1・2年生対象)読み聞かせボランティア

地域ボランティアによる読み聞かせの時間。1時間のなかで、読み聞かせやパネルシアターなど、様々なことをして下さる。楽しくて子どもたちも毎回楽しみにしており、使用された本はすぐに貸出へつながっている。



## どくしょの木

100冊・200冊・300冊～に応じて達成した児童を掲示。肯定感や読む喜びにつながっている。

貸出冊数にこだわらず、難しく長い文章に挑戦している児童にも「頑張っているで賞」を贈っている。

100冊達成者…130人・400冊達成者…10人

200冊達成者…37人・500冊達成者…7人

300冊達成者…18人・600冊達成者…1人



## 多読賞

毎月・学期毎に多読賞だった児童。飛躍的に読書量が増えた児童へ表彰をしている。これを見て肯定感や「頑張ろう」の意欲につながっている。



**図書館だより**

毎月、暦や英語での表記、季節に関する図書館のお知らせをしている。  
子どもたち向けの図書館だよりとして、読みやすさを意識して作成している。

**公共図書館からのお知らせ**

市立図書館や県立図書館から届いたお知らせを掲示。

**入口の展示**

図書館の入口に消毒・落とし物入れ・SDGs START BOOK を展示している。落とし物を入口に置くことで、自分の落とし物に気づきやすくなっている。  
SDGsに興味がある児童が多く、これまでに全校生徒の2分の1あたりがSTARTBOOKを自主的にもらっている。



# 夏休みも図書館を楽しもう

## 夏休みポイントカード

夏休みに本を借りたら1ポイントもらえ、3ポイント毎にくじびきができる。最初は本を読みにきたり勉強にきたりしていた児童も、本を借りたい意欲につながっていた。



## なつやすみ ポイントカード

なにが当たるかな？  
くじびきをすると・・・

1~4のすうじ→もらえる貸出券の数  
ま→まほうのチケット  
じ→マグネット



## くじびきの様子

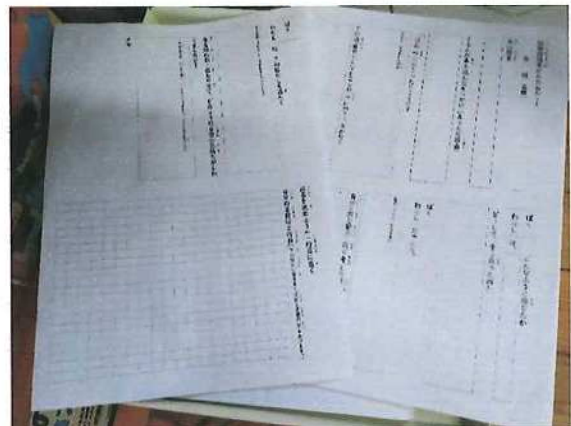
何が当たるかな？「お目当てのくじが当たりますように！」と願いを込めながら引いていた。夏休み中は毎日5冊貸出をしていたので、プラス1冊貸出券を使って6冊借りる児童が多くいた。

## 読書感想文ワークシート

読書感想文の書き方を配布し、図書館には課題図書と共にワークシートを設置した。

夏休み前から取り組む児童もいた。

夏休みに図書館で書く児童もいたので、選書・書き方の相談にのった。



## まとめ

## こんな成果ができました！

様々な図書館改革を行い、今年度は登校している児童の貸出0冊はいませんでした。また、図書館って楽しい！毎日行きたい！と言ってくれる児童もいた。貸出冊数も現時点で昨年度1年間の総貸出冊数より既に3407冊増となった。子どもたちへの声掛け・アプローチの大切さを改めて感じた。



# 令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀市立中川副小学校 児童数 77 人	担当者名	光吉絹子 松永雅子 香月貴子
住所	郵便番号 840-2201 佐賀市川副町大字福富 1316 番地	電話番号	0952-45-0219

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I.取組前の宣言内容

宣 言	目 標	「楽しむ読書」から「深める読書」へ
	取組期間	令和4年 4月 6日 ~ 令和4年 11月 30日

※令和4年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和4年11月30日までの取組みとする。

## II.取組後の評価

評 価	取組人数	77 人	実施日数	131 日	読書冊数	12713 冊	連携した団体数	3 団体
	取組内容（概要）	(1)「楽しむ読書」を中心とした取組 (2)「深める読書」を中心とした取組 (3)地域などと連携した取組						
工夫したこと	(1)「楽しむ読書」を中心とした取組 ①4月に図書委員会を中心として1年間の貸出し目標を設定。低学年 200冊、中学年 150冊、高学年 100冊を目標に活動を行った。図書館の廊下には貸出冊数が増えるごとに名前を書いたリンゴの色が変わる「どくしょの実」と、冊数に応じて名前札を移動する「どくしょロケット」があり、自分の貸出冊数がどれくらいなのか把握できるようした。 ②100冊読むごとにくじびきやガチャガチャを使って、プラス貸出し券やプラス貸出し券入れ、しおりなどのプレゼントを渡した。400冊からはトロフィーを渡すことになっていて、トロフィーを目標にしている子どもたちも多い。 ③としかんまつりでは新型コロナウイルス感染拡大防止のために、密を避けたイベントを図書委員会で企画した。「としかんすごろく」、「しおり展覧会」、「まちがいさがし」、「ぬりえ」、「としかんクイズ」など集まらずに個人でできる取組を行った。 ④図書館前の廊下の棚には、その月にまつわるテーマで司書が選んだおすすめの本を紹介している。としかんまつりの時期の6月は図書委員、10月は先生のおすすめの本を特別に紹介した。また、定期購読している「としかんニュース」で紹介された本やメディアなどで話題の本も随時紹介している。 ⑤毎学期、終業式に学年ごとの多読賞と飛躍賞の表彰を行った。平成31年度から始めた飛躍賞は、前年度より貸出数が増えた子どもを対象としていて、今年度の1学期は対象となる2年生以上の児童64名のうち31名が表彰された。 ⑥字を追いながら読むことに苦手意識のある子どもたちへの読書支援として、佐賀県まなび課から配布されたリーディングトラッカー（楽よみしおり）を図書館で貸出した。また、希望者には図書館で作成したリーディングトラッカーをプレゼントした。							



	<p>(2)「深める読書」を中心とした取組</p> <p>①各学年の国語の教科書で紹介されている本を、中っ子 30 選として必読図書にしている。平成 31 年度からは、すべて読み終えた子どもには新しい貸出カードをプレゼントした。また、「どくしょの実」のリングに「中っ子 30 選達成」の葉っぱをつけて、目に見える形で達成したことを確認することができるようにした。</p> <p>②10 冊本を借りるごとに「どくしょのきろく」に感想を書くようにしている。書いた感想は廊下におすすめの本として掲示することで他の子どもたちへの読書推進になっている。</p> <p>③子どもたちが借りる本は 9 類に偏りがちであるため、いろいろな分類の本を手にする機会となるように分類ビンゴを行った。指定された分類番号の本を借りるとビンゴカードにスタンプを押してもらい、ビンゴになるとくじ引きができるようにした。</p> <p>④本校図書館では毎日小学生新聞を定期購読しているが利用者は少なかった。このため今年度より N I E コーナーを作り、新聞の記事を掲示した。記事に興味がある子どもには、写真付きのワークシートを渡し、書いたワークシートは N I E コーナーに掲示した。また、N I E コーナーには付箋を置き、ワークシートに対する感想を貼れるようにした。感想の付箋がつくことはワークシートを書いた子どもの自信につながり、再度ワークシートにチャレンジするモチベーションにもなっている。</p> <p>(3) 地域などと連携した取組</p> <p>①第 1 月曜日の朝の時間に地域ボランティアの方や P T A の読書係の方による読み聞かせを行っている。</p> <p>②今年度は平和学習の一環として地域の方の戦争体験を聞く機会があった。このため図書館では常設している平和コーナーだけではなく、平和についての新聞記事の掲示や校長先生や司書が選んだ平和の本の紹介を並行して行った。</p> <p>③1 1 月には「家読週間」として家族で読書を楽しむ取組を行った。「家族で本を読んだり、本について話してみよう」という呼びかけでワークシートを配布した。ワークシートを持ってきた子どもにはプレゼントを渡した。家読週間の間は家読用に 1 冊多く本を借りることができるようにした。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>本校の子どもたちは図書館利用が多く、昨年度の 1 年間の貸出し目標達成率は約 8 0 パーセントで、平均貸出数は 200 冊を超えている。一方で読み物の本に偏りがちであり、特定の本ばかりの読む子どもが多かった。このため様々な本に触れることを意識した取組の結果、9 類以外の本を借りたり、互いに面白い本を教え合う光景が見られたりした。小学校時代は本が身近にある環境である。小学生の時にたくさんの本に触れることで、自分にとって特別な本との出会えるようにこれからも手助けしていきたい。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>本を手に取りたくなる環境整備やイベントを行った結果、友だち同士で自分のおすすめの本を紹介する光景がみられた。今後はただ本を手取るだけではなく、本についての情報を発信できる取組にも挑戦していきたい。今年度はできなかった図書委員会を中心とした読み聞かせや、読書郵便システムの恒常化、P O P コンテストなど、としょかんまつりを利用しながら行っていきたい。</p>

(1)「楽しむ読書」を中心とした取組

①読書の実と読書ロケット



【読書の実】貸出数 30 冊、50 冊、100 冊、150 冊、200 冊、250 冊、300 冊、400 冊、500 冊と増えるごとに色が変わる。



↑ 必読図書である中っ子 30 選(2-①)を達成した場合りんごに葉っぱが付く。



【読書ロケット】数が増えるごとに名前札を移動する。自分で移動させることができるので、自分の貸出数を意識することができる。特に低学年は名前札を移動させることを楽しみにしている。

②100 冊ごとの賞品



【100 冊達成、200 冊達成くじびき】100 冊達成時はしおりとプラス券が 1 回～3 回分、200 冊達成時はプラス券入れとプラス券 2 回～4 回分が入っている。大きなくじ引きの箱なので、初めて見る 1 年生は、毎年びっくりしている。



【300 冊達成ガチャガチャ】マグネットしおりとプラス券が 3 回～5 回分入っている。ガチャガチャを回す時はどの学年の児童も嬉しそうである。



【400 冊達成、500 冊達成トロフィー】賞状とペットボトルで作ったトロフィーとおりがみのコマを渡している。教室で担任の先生より表彰してもらおう。500 冊達成した場合は大きなトロフィーで表彰する。毎年 500 冊のトロフィーを目指して頑張っている。

③としょかんまつり (人気のイベントを抜粋)



↑ 特に人気だったのがとしょかんすごろく。高学年の児童の来館が増えた。

どくしょ玉入れは運動会が終わってすぐの時期であるため、全学年の関心が高い。毎日数を数える児童もいる。勝った組は 1 冊多く本を借りることができる。→



← 図書館の中に貼られたカエルを目印にクイズを探して答える。1 年生は 2 択、2 年生は 3 択で答えるようにしたり、高学年専用問題を作ったり工夫した。普段は利用しない本棚にも足を向けるきっかけになっていた。

④おすすめの本の紹介



司書による毎月のおすすめの本と季節の詩



先生のおすすめの本は特に人気



話題の本などの紹介



←SDGs コーナー (常設)

SDGs と関連がある本を見つけると、カウンターでラベルを貼ってもらいSDGs コーナーに置くことができる。今年度は特にSDGs に関連する読み物の本を意識した。

⑤多読賞と飛躍賞の表彰

全校生徒の前で校長先生より表彰を受けることができ、子どもたちの自信につながっている。多読賞だけではなく飛躍賞も設けることで、他者と貸出数を競争するのではなく、自分の目標冊数に向かって読書をする事ができている。



⑥リーディングトラッカーのプレゼント



佐賀県まなび課から配布された「楽よみ!しおり」の貸出しをしている。また「楽よみ!しおり」を参考に、プラバンとビニールテープでリーディングトラッカーを作成した。「読むのが苦手な子」を対象にするのではなく、「読みやすくなるしおり」として希望者全員に配布することで、使いやすい環境になるように配慮している。

(2)「深める読書」を中心とした取組

①中っ子 30 選

中っ子 30 選には長く読み継がれている本や、今日的なテーマを扱った作品が多く、読み応えあるものが多い。選書の好みがちがちな子どもたちが読書の幅を広げたり、質を高めたりするのに有効である。

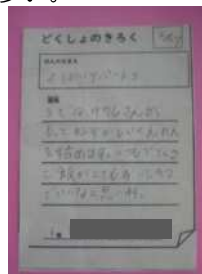


②読書の記録

10 冊本を読むごとに自分がおもしろかった本の名前と感想を「どくしょのきろく」に書いている。書いたどくしょのきろくは廊下におすすめの本として掲示している。本の感想を書くだけでなく、おすすめの本として掲示することで、他者を意識して自分の気持ちを発信することに繋がっている。また、友だちのどくしょのきろくを見ることで紹介された本を借りていくことも多い。



↑書いた記録は貼りつけて保管。卒業時に渡す。



廊下に掲示→



③分類ビンゴ



1 列揃うごとにプラス券がもらえ、全て揃うとくじ引きができる



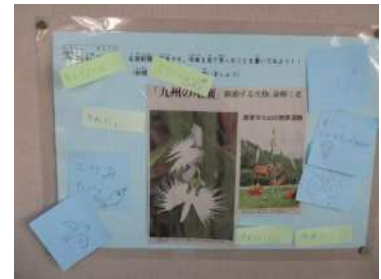
分類の本を借りるとスタンプを押してもらおう。

低学年用として新聞の写真を貼ったものに付箋で一言書いて貼りつけるようにしている。新聞へ興味を持つ第1歩となっている。↓

④NIEコーナー



←毎日小学生新聞の記事を選び、ワークシートに書いて提出する。貼られたワークシートには感想を付箋に書いて貼ることができ、友だちの意見に興味を持つきっかけとなっている。またワークシートを書いた児童も感想を貼ってもらうことで、自信につながっている。



(3) 地域などと連携した取組

①朝の読み聞かせ

地域の方と保護者の方の読み聞かせをいつも楽しみにしている。→



←読み聞かせは低学年、中学年、高学年ごとに分かれて行っている。

②平和のコーナー



←家読をした日にちと本の名前をりんごに書いて提出する。

常設の平和コーナー

平和の本の紹介

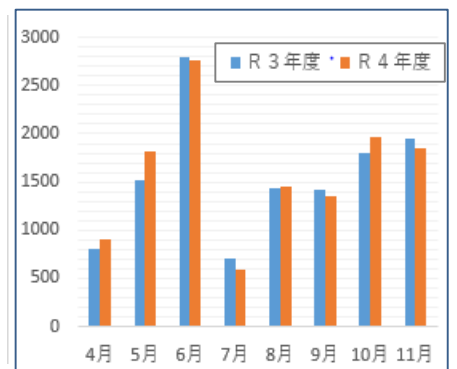
平和の記事の紹介

③家読のワークシート

《貸出冊数の比較》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計冊数
R3年度	802	1525	2799	704	1429	1416	1797	1949	12421
R4年度	903	1814	2765	596	1457	1352	1974	1852	12713
増減	+101	+289	-34	-108	+28	-64	+177	-97	+292

貸出数は昨年度と比較して 292 冊増加した。今年度は高学年で長編の小説を読む児童が増え、全体では読み物以外の分類の本を借りる児童が増えた。低学年ではお互いに本の場所を教え合う姿があり、分類への関心が高まった。



# 令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀県立盲学校 生徒数 17人 児童数 4人 幼児数 1人	担当者名	永松 眞奈美
住所	郵便番号 840-0851 佐賀市天祐一丁目5番29号	電話番号	0952-23-9352

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I.取組前の宣言内容

宣言	目標	全員参加で楽しもう！図書館祭り！！
	取組期間	令和4年10月17日～令和4年11月30日

※令和4年4月1日以降、各学校が取組を始めた日から、令和4年11月30日までの取組とする。

## II.取組後の評価

評価	取組人数	22人	実施日数	31日	読書冊数	442冊	連携した団体数	2団体
	取組内容（概要）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館祭りの各種イベントの実施〔作品展示、おすすめの本の紹介展示、お話しサウンドクイズ、本に関するクイズなどのコーナー、全体ゲーム（体育館）〕</li> <li>・移動図書館（年2回実施、本を台車に乗せて児童生徒が集まりやすい場所で）</li> <li>・県立図書館からの本の読み聞かせ</li> </ul>						
	工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障害特別支援学校に特化したクイズの出題方法（サウンドクイズやイントロあてクイズ、触れる作品展示、図書情報部全員で役を決め本の朗読をするお話し（コロナ禍のため事前収録によるオンデマンド配信で実施）</li> <li>・移動が困難な児童・生徒のために図書館の方から移動</li> <li>・外部との連携（県立図書館、点訳ボランティア団体：秋桜の会など）</li> </ul>						
	取り組んだ感想	<p>日ごろ、本は読みたいけれど、ゆっくり図書館に行ったり読んだりする時間が取れないという児童・生徒が多いので、こちらから働きかけて本の楽しさに触れてほしいと考えた。幼児・児童・生徒が図書館に足を向ける頻度が増え、より読書に関心をもってくれるようになったと感じた。しかし、書籍の貸出し冊数の増加には十分には反映されていないようだ。視覚障害は、主として情報の入力に困難が生じる障害種であるため、本校独自の図書館運営が必要となってくる。活字を音声に変換してくれる機器や拡大読書器の設置、点字本や拡大本、マルチメディア図書などの充実を通して、幼児・児童・生徒の読書生活が少しでも豊かになるように働きかけていきたいと思った。</p>						
	これまでの取組や今後の取組予定	<p>リクエストBOXの設置（購入希望の本や、点訳、音訳してほしい本を募集している。）令和3年度は生徒・職員・保護者から計16冊の本の購入希望があった。今年度も10月時点で7冊の購入希望、点訳が2冊、音訳1冊のリクエストがっている。</p> <p>幼児・児童・生徒の実態や趣向に沿った「今、読みたい本」をタイムリーに入れ、ワクワクする図書館にしていきたい。また、これからも小学部でのお話会の取り組みを継続したり、様々な学習（療科にも）に役立つ書籍も積極的に入れたりとしていきたい。さらにその有効な活用について全職員から意見を集め、授業の中で生きる図書館の在り方を考え実践していきたい。</p>						

※本報告書は簡潔に記述し、A4サイズ2頁以内とし、取組内容が分かる資料（写真、イラスト、取組前

## 1 図書館祭りの各種イベント紹介

〔おすすめの本紹介コーナー〕児童・生徒や職員におすすめの本を紹介してもらう。紹介文を書くテンプレートは、本の表紙も入力しちょっとしたポップ調になっている。それが A4 判で壁面にずらり。それらを点訳したものを冊子に綴じて誰もが読めるようにしている。また実際の書籍も展示しいつでも手に取って読めるようにしている。

〔作品展示コーナー〕幼児・児童・生徒が授業等で制作したり職員が手作りしたりした作品を持ち寄り、展示をしている。図工の時間などに作った立体作品や絵画、幼稚部で毎月作っているカレンダー、家庭科の作品（エプロン、小物）、写真、書、中には物語を創作した文集など様々。最終日は、学校公開の日で保護者や外部の方にも参観していただけるようにしている。

〔図書館クイズのコーナー〕広用紙に問題掲示。図書館の書籍に関するクイズを出題し、回答してもらっている。初級から上級まで難易度は3段階あり、誰でも挑戦できるようにしている。

〔サウンドクイズのコーナー〕パワーポイントを活用し、様々な音を流し、何の音なのか3択で当てるクイズ。生徒たちはパソコンから流れてくる音に耳をすまし、答えを用紙に書き込んでいた。

〔人気のある絵本当てクイズコーナー〕広用紙に問題掲示。その名の通り、図書室でよく読まれている絵本は何か3択で当てるクイズ。

〔図書館まつり全体ゲーム〕（イントロクイズ）

昼休み、図書館を飛び出して、みんなが体育館に集まり、大型プロジェクターを活用し、全10問のイントロ当てクイズに挑戦する。全問正解者から順に景品をゲットすることができる。いろいろな年代の曲に頭をひねりながら曲名を考えていた。

〔お話し会〕図書情報部全員が役割分担し一冊の絵本を音読する。それを録音し、楽しい効果音や画像などを入れる編集を施し、学習用端末や電子黒板で鑑賞することができる。また、その後ディスクに保存し、図書室においていつでも鑑賞できるようにしている。



壁面いっぱいのおすすめの本紹介。写真はある職員の特設コーナー。実際の書籍も展示し、毎年楽しませてくれている。



作品の解説を点字で読む児童。作品のほとんどが手で触って鑑賞でき、その解説文も拡大文字や点字で添えてある。



全体ゲームに参加する児童たち。イントロに耳を澄ませ、正解を聞いて一喜一憂。幼児、児童、生徒同志の一体感が生まれる楽しい時間。



作品を触察しながら鑑賞する児童。丁寧に触りながら作品のイメージを高めていく。(背面はおすすめの本紹介コーナー)



マルチメディアデジタル図書を友達と一緒に鑑賞。音声だけを楽しむ児童と画像も楽しむ幼児がともに活動。下は中学部の生徒と一緒に。



サウンドクイズを楽しむ幼児と児童。パソコンの簡単な操作だけで問題が流れたり、次の問題に変わったりする。画面は見やすいようにコントラスト等が工夫されている。



図書館へは日ごろ足が遠い児童も図書館祭りのイベントには楽しく参加。本と出会うきっかけにもなっている。



学校公開当日は、多くの保護者や参観者が訪れ、盲学校の生徒や職員たちの作品を鑑賞したり、クイズに参加したりしていた。また、同じ図書館内で様々な視覚補助具等の展示も行っており、視覚障害への啓蒙啓発をすすめるための展示となっている。



## 2 県立図書館の読書活動支援事業との連携

県立図書館が展開している読書支援事業の一環として、盲学校小学部の児童らに対

象に読み聞かせをしていただいた。事前に児童の実態などについて打ち合わせをしたこともあり、「おおきなかぶ」の音読の際は、実際のかぶを触らせるなど、本のイメージが広がるように工夫されていた。



### 3 毎週金曜日朝のお話会

幼小学部では毎週金曜日の朝、学習室に集まり本の読み聞かせを行っている。毎週幼小学部の職員や図書・情報部の職員が1冊ずつ児童の興味、関心及び実態に即した本を選書し、続けている。その中で、図書館まつりで準備しておいたお話会の番組を電子黒板で再生しみんなで鑑賞したり、落語の実演を聴いたり、様々な演出方法で実施し、児童たちは毎回楽しくお話を聴く機会となっている。



「なんのにおい はる」の読み聞かせでシロツメクサや山椒などの草木の香りを実際に感じてもらう。



落語を聴いた後、着物や扇子、手ぬぐいなどを触察する児童たち。



いろいろな本を楽しく聴く児童たち





# 令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	日新小学校 児童数 389人	担当者名	石井 美根子
住所	郵便番号 840-0853 佐賀市長瀬町9番15号	電話番号	0952-24-4261

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱については、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I.取組前の宣言内容

宣言	目標	楽しく本にふれあおう
	取組期間	令和4年4月7日 ~ 令和4年11月30日

※令和4年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和4年11月30日までの取組みとする。

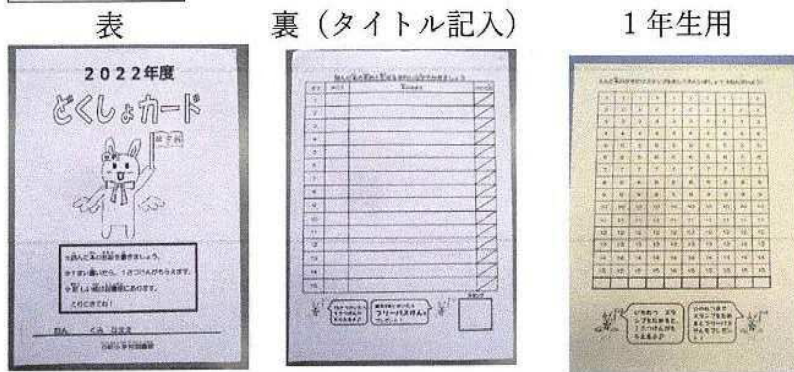
## II.取組後の評価

取組人数	407人	実施日数	237日	読書冊数	34,021冊	連携した団体数	2団体
取組内容(概要)	<p>～楽しみながら本にふれあうための取り組み～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①全児童へ読書カードの配布</li> <li>②1か月間「読書ビンゴ」開催。達成者は「佐賀弁クイズ」に挑戦。</li> <li>③図書館まつり(6月と11月)</li> <li>④目標貸出数140冊達成者の掲示</li> <li>⑤1日体験図書委員</li> <li>⑥季節展示による読書推進</li> <li>⑦授業との連携</li> <li>⑧ボランティアによる読み語り</li> </ol>						
工夫したこと	<ol style="list-style-type: none"> <li>①1年生は借りた冊数分スタンプを押すカード、2～6年生は借りた本の題名を記入するカードを配布。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が今までに何冊の本を借りたのか一目でわかる。</li> <li>・学年でいくつか目標冊数を設けており、達成すれば「プラス1冊券」「フリーパス券」「図書館グッズ」などがもらえる。</li> </ul> </li> <li>②ビンゴカードには「担任の先生が好きな本」「家族に読んであげたい本」など様々なテーマが書かれており、ゲーム感覚で借りることができる。また、その後の「佐賀弁クイズ」では、日頃使い慣れていない佐賀弁に苦慮しながらも、先生方に質問する姿が見られた。 <p>「家族に読んであげたい本」は、家族から感想を書いてもらい掲示した。温かいコメントを書いていただき「うち読」推進にもつながった。</p> </li> <li>③図書委員が企画・広報・準備・開催のすべてを担う。コンテスト類は、募集・投票・結果発表まで取り組ませる。終了後もしばらく作品を展示することで図書館に足を運ぶきっかけにもなった。 <p>6月…しおり作り・4コママンガ・イラストコンテスト・図書館クイズ</p> <p>11月…折り紙コンテスト・ビンゴ&amp;本の福袋・怖い話・5かいだてのいえデザイ</p> </li> </ol>						

		<p>ンコンテスト・朝の時間の図書委員による出張読み聞かせ・給食室とのコラボ給食 2 日間</p> <p>「図書委員による出張読み聞かせ」</p> <p>自主的に何度も練習する姿が見られた。人前での読み聞かせの経験は初めての児童ばかりで本番は緊張した様子だったが、やり遂げた達成感を味わえた児童もいた。</p> <p>「怖い話」</p> <p>図書館備え付けのスクリーンと効果音を使って、迫力あるダイナミックな雰囲気演出することができた。想像以上に多数の児童が来館したため、次回は学年ごとに開催するなど入場制限が必要と感じた。</p> <p>④140 冊達成者は記名した星を学年ごとに貼り出している。階段の踊り場に掲示しているため目につきやすく、目標達成への意欲につながっている。</p> <p>⑤1 日 4 名ずつ 1 週間昼休みに体験。1 名につき 1 人図書委員が付き添い指導にあたった。楽しみながら図書委員の仕事を体験してもらうことができた。</p> <p>内容…受け付け・本棚の整理・本の修理など。</p> <p>⑥四季折々の飾りつけは大切にし、変化のある図書館作りを心掛けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節に合った図書コーナーを設置し、関心を引く工夫をしている。</li> <li>・入り口のドアは全開にしておき、児童も先生も入りやすいようにしている。</li> <li>・文字だけの図書館だよりにならないよう、写真をふんだんに掲載するようにしている。</li> <li>・新しく入った本は 1 冊ずつ写真を張り付け、紹介文を添えて掲示している。</li> </ul> <p>⑦担任からの依頼で授業で必要な図書を、他校や市立図書館から借り、できるだけ多くの本を児童が手にできるようにした。</p> <p>3 年生…「昆虫・擬態」「福祉・ユニバーサルデザインに関する本」228 冊 「パラリンピック関連」13 冊</p> <p>福祉の本から、司書が手話を交えたブックトークを実施。</p> <p>1 年生…「乗り物の本」32 冊</p> <p>5 年生…「鍋島直正」83 冊</p> <p>⑧ボランティア「ティンカーベル」による読み語りを、朝の時間に月 2 回実施していただいている。</p>
<p>取り組んだ感想</p>		<p>「図書館で何か楽しいことやってるな。行ってみようかな」と思ってもらうため様々なイベントを開催した。図書委員と司書だけでなく先生方にも協力いただき、楽しんでイベントに参加する児童を見ることができた。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>		<p>引き続き図書委員主体のイベントを開催していきたい。12 月は先生方による「クリスマス読み聞かせ会」と、図書委員による「折り紙教室」を予定している。今後も体験型のイベントを行い、楽しみながら本にふれあえる機会を増やしていきたい。</p>

取組内容

①読書カード

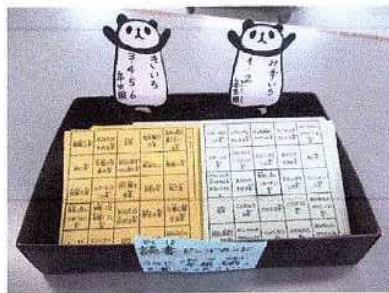


一年生は借りた分だけスタンプを押す。



②読書ビンゴ 佐賀弁クイズ

1・2年生用と3・4・5・6年生用のビンゴカード



おうちの方からの感想



スタンプが3列揃ったら佐賀弁クイズに挑戦。



③図書館まつり

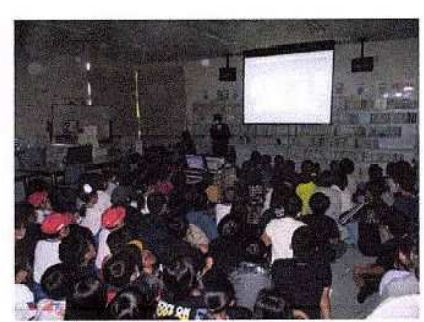
折り紙コンテスト



開けてからの楽しみ本の福袋



スクリーンを使った怖い話



コンテスト投票の様子



コラボ給食



図書委員の出張読み聞かせ



栄養士の先生に調理中の写真を撮っていただき、家庭でも作れるようレシピと本を掲示。

④目標冊数 140 冊達成者の星



階段踊り場に  
掲示。  
毎週金曜日に  
更新。

⑤1 日体験図書委員



受け付け、  
本棚整理、  
本の修理な  
ど体験。

⑥季節展示による読書推進

梅雨



食欲の秋



新しい本の紹介

写真を貼り 1冊ずつ紹介文を書いて掲示



スポーツの秋



開放的な入口と掲示板での情報発信



季節感を大  
切にし、目  
でも楽しめ  
るよう工夫  
している。

# 令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀市久保泉小学校 児童数 153 人	担当者名	武藤 郁美
住所	849-0901 佐賀市久保泉町大字川久保1357-1	電話番号	0952-98-1171

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I.取組前の宣言内容

宣言	目標	すべての子どもに！本の世界の扉を開く ～読書の幅を広げる～
	取組期間	令和4年4月20日 ～ 令和4年11月30日

※令和4年4月1日以降、各学校が取組を始めた日から、令和4年11月30日までの取組とする。

## II.取組後の評価

取組人数	153 人	実施日数	224 日	読書冊数	19,259 冊	連携した団体数	1 団体
取組内容 (概要)	<p>① <b>本の世界の扉を開く</b></p> <p>(1) 図書館キャラクターといずみポイント (2) としょかんだよりの内容充実 (3) 季節や話題に合った本の紹介 (4) 児童の手による「クラスの図書館」「読書30選」</p> <p>② <b>本の世界を楽しむ</b></p> <p>(1) 読み聞かせ (2) お話会</p> <p>③ <b>本の世界をつなぎ・広げる</b></p> <p>(1) 縦割り班対抗「いきものパズル」 (2) 環境委員会とのコラボ「SDGs」の取り組み</p>						
工夫したこと	<p>① <b>本の世界の扉を開く</b></p> <p>(1) 図書館キャラクターといずみポイント 5月に図書館キャラクターを募集し、全校児童による投票でコンテストを行った。キャラクターは、図書館だよりの中や図書館に登場し、児童を図書館に誘っている。また、本を借りたりイベントに参加したりした時は「いずみポイント」がもらえるようにしている。このポイントは、ポイント数に応じて「プラス〇冊券」や「1か月いつでも一冊多く借りられるフリーパス券」「動物しおり」などと交換できるようにした。</p> <p>(2) としょかんだよりの内容充実 毎月発行の「としょかんだより」には、多読者の紹介とともに、図書館でのイベントの紹介と本の紹介を行った。本の紹介では、本の内容に興味をもてるように本の表紙だけでなく紹介文(司書作成・図書委員作成)を必ず加えた。</p> <p>(3) 季節や話題に合った本の紹介 図書館入り口のコーナーに、季節や月ごとの話題に合った本コーナーを作り、図書委員が作成したポップといっしょに掲示した。</p> <p>(4) 図書室に各学年に応じた本を掲示。 3年生以上のクラスではオリエンテーション時に、〇類から9類・絵本などの本を児童が持ち寄り「クラスの図書館」のコーナーをつかった。コーナーでは、本の表紙が見えるように掲示。また、持ち寄った本の一部は「読書30選」の本とし、児童自らも選べる「読書30選」とした。</p>						

		<p><b>②本の世界を楽しむ</b></p> <p>(1) 読み聞かせ お話ボランティアの方による読み聞かせを下学年は2週間に1度、上学年は月に1度おこなった。そのほか、図書館司書や図書館事務員、校長や教頭、養護教諭や地域教育コーディネーターなどの職員も読み聞かせを行い本の世界の幅が広がるようにした。担任をシャッフルしての読み聞かせも行った。</p> <p>(2) お話会 全校児童を対象に、お話ボランティアの方々による「お話会」を行った。図書室にミニ劇場を前日からセットし、45分のお話会を2回行った。内容は「大型絵本の読み聞かせ」「パネルシアター」「人形劇」などが行われた。</p> <p><b>③本の世界をつなぎ・広げる</b></p> <p>(1) 縦割り班対抗「生き物のパズル」 本を借りると、パズルの1ピースがもらえ、出来上がりの生き物の写真に合わせて、ピースを埋めていくパズルに縦割り班でチャレンジするようにした。</p> <p>(2) 環境委員会とのコラボ企画縦割り班対抗「SDGsパズル」「SDGsビンゴ」 環境委員がSDGsの17の目標に関する本を選書。その中の一冊を6年生が縦割り班のメンバーに読み聞かせ、内容を交流。本の表紙パズルにも縦割り班でチャレンジしたりした。また、キーワードをもとにしてSDGsの目標の番号を当てながらのビンゴゲームを行った。</p> <p>(3) ワールドカップイベント ワールドカップに出場する国の情報が書かれたポスターとトーナメント表、世界地図や日本選手の情報などを図書館に掲示。本を借りると出場国の国旗のシールが1枚もらえるというイベント。本を借りながら国旗や国の特徴にも興味をもって取り組むことができたようにした。</p>
	<p>取り組んだ感想</p>	<p>本校では、本の貸出数に個人差が大きいことが課題だったため、「すべての子どもに!本の世界の扉を開く ~読書の幅を広げる~」ことを目標に掲げ取り組んだ。</p> <p>まずは、図書館に足を運んでもらえるように魅力的な図書館づくりとイベントを考えました。本を借りると「いずみポイント」がもらえ、それがたまると、楽しい商品やお得な貸出券に交換することができた。イベントについては、司書がアイデアを練るが、児童が図書に興味をもち主体的に取り組める内容にすることを心掛けた。図書委員会の児童は、司書の提案を喜び、イベントの準備など精力的に活動した。おかげで図書館祭りの期間中以外のイベントにも、多くの児童が図書館に足を運ぶようになった。</p> <p>新しい本や月のテーマに合わせた本を児童の目につく図書館の入り口に掲示したことは、本を選べなくて困っている児童の選書をサポートした。また、司書、図書委員、お話ボランティア、縦割りのリーダーそして全職員で、様々な方向から本の紹介を行ったことは、児童が<b>本の世界を楽しむ</b>機会となり、児童が手にする本の幅(分野)を広げるきっかけになり、<b>本の世界の扉を開く</b>ことにつながった。</p> <p>今年はじめて行った縦割り班対抗の取り組みでは、学年の枠を超え互いに声をかけ合う姿が見られ、縦割り班の仲間意識が高まった。さらに、環境委員と図書委員とのコラボ企画では、6年生が縦割り班のメンバーに読み聞かせを行った1冊の本がSDGsのどの目標と関係しているかを話し合い、ロゴシールを貼る活動を通して、1冊の本の世界を縦割り班の中に広げることができた。さらに、縦割り班対抗のパズルの内容を「生き物」や「SDGs」にしたことや「ワールドカップイベント」を行ったことは、本の世界を生活の中の話題と結びつけることができた。SDGsへの内容理解、世界各国への理解が深まり、<b>本の世界をつなぎ・広げる</b>ことになった。</p>
	<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>上記に記述した取り組み以外にも、「読書標語」「スタンプラリー」「お気に入りの一冊をあなたへ読書推薦文コンクール」「図書館祭りの季節イベント」「おみくじイベント」などを行った。今後は、目標達成を目指してさらに読書に親しんでいけるように、「宝くじイベント」などを考えている。</p>

# ① 本の世界の扉を開く

(1)オリジナルキャラクター、いずみポイント、オリジナル貸し出しカード



1年生が考えた「いるきちゃん」



図書館でみんなを待つ「いるきちゃん」



いずみポイントは、いろんなポイントがある。専用のポイント入れに貯め、お楽しみに使う。

いずみポイント60Pでオリジナル貸し出しカード(上)いずみポイント15Pでフリーパス券(下)がもらえる!

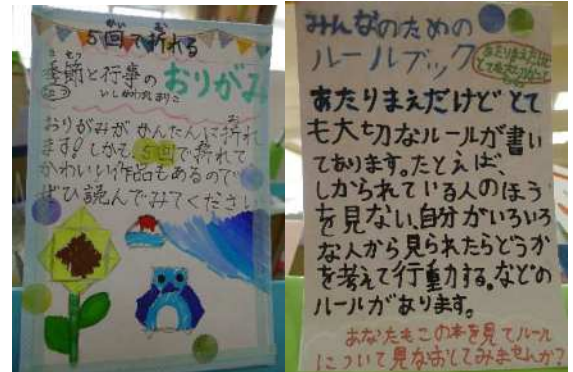


(2)としょかんだよりの内容充実

『あらのはたけ』 村中 季衣 作  
横浜から山口へ引越してきたえりと、親友のエミの手紙のやりとりだけで語られるお話。最初はえりが育てているイチゴやハーブの話など、ほっこりした内容が続きますが、ときどき二人の手紙に出てくる友達「けんちゃん」のことが、読者の私達も気になってきます。なにげなく出てくる、おじいちゃんやおとうさんの言葉もステキです。読み終わったあと、最後の絵やカバーの絵も、じっくり見てくださいね。とても読みやすく、さわやかな気持ちになれるので、読書感想文にもおすすめです!

『追跡なぞの深海生物』 藤原義弘 写真・文  
絵巻物で紹介されている本  
最近も、空まているダイオウイカが見つかってニュースになっていましたね。深海には私たちが知らない、不思議な生き物がたくさんいます。巨大だったり、大きな口をしていたり、光っていたり!それは、光がとどかない真っ暗な深海で生きるための術を身につけた偉大なのです。私が一番びっくりしたのは、化学合成細菌と共生する生き物たち。人類の食糧不足もこれで解決できるかも!?

司書作成の本の紹介文



図書委員作成の紹介ポップ

(3)季節や話題に合った本の紹介、お楽しみイベント



図書委員の手作りポップで本の内容を知り、予約する児童も多い。このコーナーは人気がある。

## クリスマスイベント



クリスマスの飾りをつくる児童。リースは、いずみポイントと交換できるようにした。

## おみくじイベント



おみくじには、「大吉 今日 は料理をしてみよう」などのメッセージとそれに対応するおすすめの本に書かれた番号を記した。その本を借りると、ポイントがもらえるため、普段読まないジャンルの本への誘いをする事ができた。



## ワールドカップイベント



サッカーワールドカップで盛り上がる時期に開催。出場国のポスターや地図、日本選手の情報を掲示。国旗のシールをゲットするために図書館へ。

#### (4) 児童の手による「クラスの図書館」「読書 30 選」

年度当初の図書館オリエンテーション(3年以上)では、児童が「十進分類法」を意識して持ち寄った本を集めて「クラスの図書館」のコーナーを設置。本は、表紙が見えるように提示している。分類を意識できるコーナーである。

また、これらの一部は、教科書にのっている本、司書がすすめる本とともに、「読書30選」になっている。30冊をすべて読むと、「達成証明書」とともに、「いずみポイント10ポイント」と「ガチャガチャ1回券」もゲットできる(赤枠)。



### ② 本の世界を楽しむ

#### (1) 読み聞かせ



通常は、読み聞かせボランティアによる「読み聞かせ」(左)。金曜日の8:15~8:30に1~3冊の本を読み聞かせしてもらっている。

校長先生や級外の先生、担任の先生を入れ替えての読み聞かせも行った(右)。それぞれの職員で選書も行う。児童は、新鮮な気持ちで読み聞かせに集中。



#### (2) お話会・・・お話ボランティアによるイベント「お話会」



読み聞かせボランティアの方々による年に一度の大イベント。和やかな歌からスタートし、大型絵本やパネルシアター、人形劇など、充実した内容が繰り広げられた。ボランティアの方々のとてん温かい語り口に児童は、本の世界に浸っていた。今年、「うんちをしたのはだれよ」の大型絵本の読み聞かせがあり、その直後、紙パックと輪ゴムで作成した、うんちのイラストのついた手作りおもちゃがプレゼントされ、会場はさらに盛り上がった。

### ③ 本の世界をつなぐ・広げる

#### (1) 縦割り班対抗「いきものパズル」



縦割り班ごとに、珍しい「生き物」のパズルにチャレンジした。下赤枠のように、縦割り班ごとに用意されたパズルのピースから、本を借りるたびに1ピースもらえるようにした。班で協力しながらピースをうめ、少しずつ生き物の姿が明らかになると、生き物の名前を縦割り班で当てあった。

この取り組みを通して、生き物の名前を知り生き物への興味関心が高まった。





(2) 環境委員会とのコラボ企画縦割り班対抗「SDGsパズル」「SDGsビンゴ」



環境委員会が選書した本を各縦割り班に1冊ずつ配布。縦割り班ごとに教室に集合し、6年生が下級生に読み聞かせをした(左)。  
 内容を知った後、何番の目標と関係があるかを相談し、対応する目標のロゴのシールを貼っている(右)。  
 ☆班作成のワークは右下



それぞれの縦割り班で読み聞かせた本の表紙をパズルにしたもの(真ん中)。パズルの完成に向けて、「だいぶパズルできてるよ。」「本、読んでる?」など6年生から下級生の声掛けが聞かれた。給食時には、図書委員が途中経過を知らせ、読書をすすめた。左は、パズルにピースを貼っている児童の様子。どんどん完成していくのが嬉しそう。

環境委員会によるSDGsビンゴ大会を図書館で開催。下学年・上学年に分かれて行った。  
 環境委員会の児童は、画用紙に本の中に出てくるSDGsに関する言葉を提示し、参加者は、それが何番の目標と関係しているかを当てる。示された正解を確認しながら、手持ちのビンゴカード(4マス×4マス)に印を入れていく。  
 下学年の参加が多かったが難しかった。学年ごとに行い、分かりやすい問題の出し方を工夫するとよかった。高学年は、人数もほどよく、内容理解をより深めることができた。



SDGsの目標を子どもたちに分かりやすいキーワードで示した。例えば、11(いえ・まちづくり・あんぜん)12(もったいない・リサイクル・プラスチック)など。

縦割り班ごとに、選んだ本の内容に関連しているSDGsの目標を話し合い、そのロゴシールをはったもの。右下は、その一つ。

完成したパズルを結果と共に掲示した。上のワークと並べて掲示することで、それぞれの本が、どんな内容を含んでいるのか(子どもたちの感覚で選んでいるので正解などはないが)を想像し、読書へつなげる。



☆ワーク

【目標達成率】

学年	目標冊数	達成率
1.2年	120冊	84%
3.4年	100冊	61%
5,6年	80冊	57%

【40冊未満の児童】

学年	40冊未満
1.2年	0%(0人)
3.4年	2%(1人)
5.6年	3%(2人)

# 令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	鹿島市立浜小学校 児童数 129 人	担当者名	竹下 綾子
住所	郵便番号 849-1322 鹿島市浜町 1239 番地	電話番号	0954-62-2444

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I. 取組前の宣言内容

宣言	目標	本で行ってみよう 新しい世界へ
	取組期間	令和4年 4月 7日 ~ 令和4年 11月 30日

※令和4年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和4年11月30日までの取組みとする。

## II. 取組後の評価

評価	取組人数	147 人	実施日数	228 日	読書冊数	21,654 冊	連携した団体数	3 団体
	取組内容（概要）	<p>①SDGsのコーナー設置 「おすすめの本第2弾」として、「SDGsにふれてみよう！」として、最近身近になってきたSDGsについての本にふれる機会を作った。</p> <p>②6年間通してのファイリング（としょかんの旅→年2回、家族読書→年1回）</p> <p>③内容に目を向けた読書活動 ・みんなで読書（3年生以上、2週間に1回） ・貸出冊数だけでなく、きちんと読み切ることを大切に活動</p> <p>④色々な本と出会うイベント ・図書委員会のおすすめの本 ・POPコンテスト ・読書郵便</p> <p>⑤地域との連携 ・おはなし母ちゃんず（月1回、朝の時間） ・PTA母親部による読み語り（11月、光の子集会） ・鹿島市民図書館からの貸出（巡回図書、団体貸出）</p> <p>⑥各教科との連携 ・授業の取り組みの掲示と関連蔵書の展示 ・英語の本の読み語り</p> <p>⑦季節展示やコーナー、子どもたちとの環境整備による読書推進</p>						
	工夫したこと	<p>①SDGsのコーナー設置 毎年取り組んでいる「おすすめの本30冊」の第2弾として、今年度は最近身近になっているSDGsに関連する本を読むことを目標にした。「SDGsにふれてみよう！」として、17の目標のうち、10の目標に絞り、各目標に対し2冊ずつ、計20冊読むことができたなら完読とした。この読書活動を通して、SDGsについて知ってもらい実践できる子どもを育てることに繋げていきたい。</p> <p>具体的な取り組みとしては、図書室に「SDGsにふれてみよう！」のコーナーを作り、目につきやすいようにした。また本には、表紙と背表紙に目標のアイコンを貼り、わかりやすいように工夫した。給食時間にSDGs紹介の放送を図書委員会で行っている。</p> <p>②6年間通してのファイリング</p>						

	<p>年2回の「としょかんの旅」、年1回の「家族読書」の記録を1冊の台紙にファイリングしていく。6年間の成長をみることができ、自分だけの本や家族との読書の記録ができる。「としょだより」に掲載することで、全校への紹介もした。</p> <p><b>③内容に目を向けた読書活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎年3年生以上は、2週間に1度、朝の時間に「みんなで読書（みんな読）」として「おすすめの本30冊」からグループごとに1冊選んだ本で、感想交流を行っている。今年度は各学年30冊ずつ同じ本を購入し、初めてクラス全員で同じ本での感想交流を行った。全員で感想を共有することで、物語の見え方も増え、新たな目線で物語に触れることができる。</li> <li>・ 年間の貸出冊数が200冊以上になる児童もいる中で、貸出冊数は少ないが、ページ数の多い本に挑戦している児童もいる。読んだページ数の表が、内容重視の読書活動の手助けになっている。また、絵本から読み物への移行への手助けとして、貸出時の本の紹介やコーナーを作って目に入るようにしている。</li> </ul> <p><b>④色々な本と出会イベント</b></p> <p>図書委員会のおすすめや、好きな本でのPOP作り、友達同士で送り合う読書郵便を通して、自分だけでは出会わないような本との出会いができるよう企画した。</p> <p><b>⑤地域との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月1回、朝の時間に地域の読み語り団体「お話かあちゃんず」による読み語りを実施してもらっている。自分では手に取らないような本に出会うきっかけになるので、コーナーを作り紹介をしている。</li> <li>・ 11月の光の子集会で、PTA 母親部に大型紙芝居の読み語りをしてもらった。</li> <li>・ 鹿島市民図書館との連携は、巡回図書（2ヶ月に1回、200冊）と授業等で利用する本の団体貸出がある。今年度から巡回図書の冊数が増えたので、全学年に本を置くことができるようになった。</li> </ul> <p><b>⑥各教科との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国語の授業で行った調べ学習のまとめやPOPを図書室で本と一緒に展開した。また取り扱った著者の別の作品等を図書室でコーナーとして全校に紹介した。</li> <li>・ 英語の本の読み語りを11月にしてもらった。普段なかなか触れない英語の本と触れ合う機会を作ることができた。</li> </ul> <p><b>⑦季節展示・コーナー・環境整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 季節を感じる展示やコーナー作りを心がけた。コーナー作りは基本的に長期・短期のコーナーを設け、色々なジャンルの本を取り扱うようにした。環境整備や掲示は児童と行うことを増やし、図書室を一緒に作り上げるようにした。</li> </ul>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>「SDGsにふれてみよう!」を通して、安心・安全に暮らしていけるように今できることを考え、できることから始めることを知ることにつなげたい。</p> <p>また、同じ本ばかりでなく新しい本に出会うきっかけとして、各種イベントやコーナー作りを充実させた。「今年度もやりたい」と児童から要望もあり、11月からは「読書郵便」で、友達に本を薦める事の楽しさも広がっているように感じられる。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>これまで毎年続けてきている読書活動は、積み重ねができていますのでこれからも続けていきたい。今年度から新たに始めた「SDGs」の取り組みは、更に大切になっていくと思うので、引き続き理解を深める読書活動をしていきたい。地域との連携や児童と作る図書室を目指して、これからも読書の世界を広げる活動をしていきたい。</p>

## ①SDG s コーナー設置



SDG s コーナー

・「おすすめの本第2弾 SDG sにふれてみよう！」  
初めてSDG sにふれる児童も多いので、ふれてみることを目標に始めた。活動を通して、SDG sを知って、実践できる子どもを育てることに繋げていきたい。

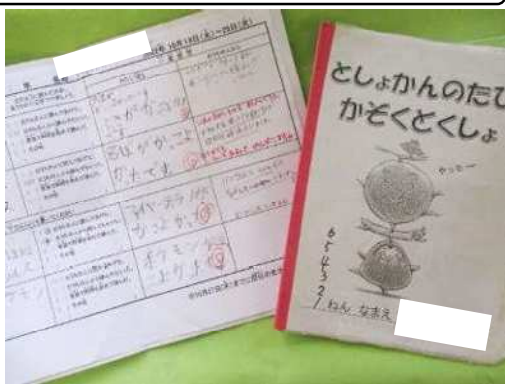


「SDG sにふれてみよう！」冊子

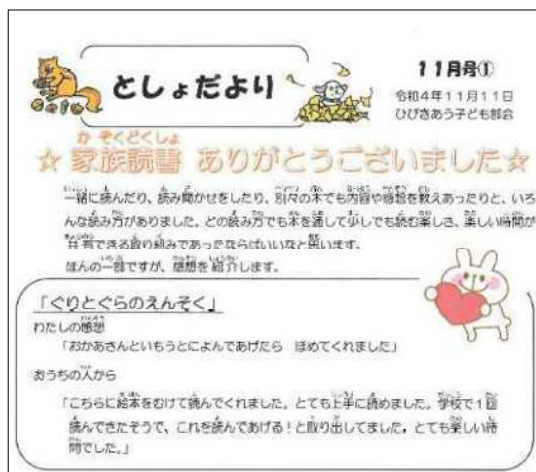
表紙と背表紙にアイコンを付けて、  
わかりやすく配架



## ②6年間通してのファイリング



6年間使う冊子



家族読書を紹介したとしょだより

## ③内容に目を向けた読書活動



「みんなで読書」  
みんなの前で感想発表中

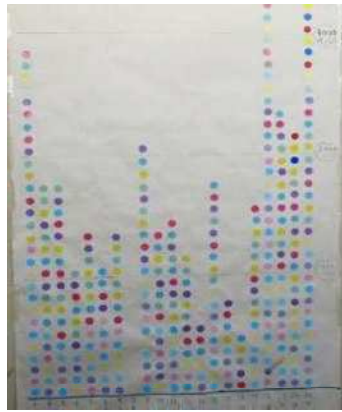


クラス全員同じ本で感想交流

3年生以上の「みんなで読書」の様子  
クラス全員で同じ本での感想交流もできた。自分とは違う意見が聞けて、より物語の見え方が増えたと思う。



読んだページ数でシールを貼る  
読書メーターの取組み



前年度より貸出冊数は減っているが、ページ数の多い本に挑戦する児童も増えてきている。

クラスではページ数に合わせてシールを貼る取り組みをしているクラスもある。

#### ④色々な本と出会うイベント



図書委員おすすめの本コーナー



放送で紹介

図書委員が自分のおすすめの本を決めて、給食時間の放送で紹介した。長期コーナーをとって、目につきやすいようにした。



入賞者紹介掲示



POPと本と一緒に展示

「第2回浜小  
POP コンテスト」

校長先生賞と図書委員賞を作り校内での入賞を決め、全作品を本と一緒に図書室内で展示。



児童が出した読書郵便

読書郵便は、毎日ポストに10枚くらい入っているので、図書委員会が配達する。

### ⑤地域との連携



PTA母親部による読み語り

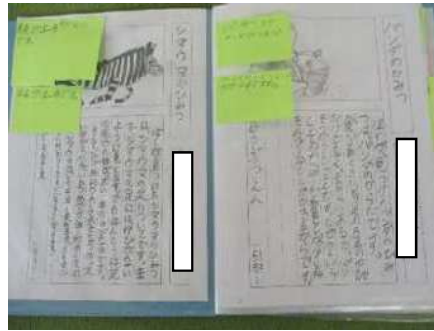


お話かあちゃんず

市民図書館からの  
巡回図書  
「みにみに図書館」



### ⑥各教科との連携



国語の授業での取り組みを図書室で本と一緒に展開

### ⑥季節展示、コーナー、環境整備

短期・長期コーナーの転換と児童との季節ごとの環境整備で  
みんなで作る図書室を意識した



英語の本の読み語り



短期：GWをたのしもう♪



長期：〇〇の秋



児童の  
おりがみ作品コーナー

# 令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	小城市立三日月小学校 児童数728人	担当者名	横尾みゆき 進藤彩 真子侑子
住所	郵便番号 845-0021 佐賀県小城市三日月町長神田 1680	電話番号	(0952) 73-2950

## I.取組前の宣言内容

宣言	目標	読書！笑顔！三日月サイコー！ ～本で友達とつながろう～
	取組期間	令和4年4月11日 ～ 令和4年11月30日

## II.取組後の評価

評価	取組人数	784人	実施日数	133日	読書冊数	70,365冊	連携した団体数	2団体
	取組内容（概要）	<p>1. 宣言目標「読書！笑顔！三日月サイコー！～本で友達とつながろう～」</p> <p>2. 継続している取組</p>						
	工夫したこと	<p>三日月小学校は合言葉を「元気！笑顔！三日月サイコー！」とし、大規模校の良さを生かしながら、ともに誇れる学校づくりに励んでいる。読書チャレンジでも、読書で笑顔の輪を広げ、本で友達とつながることで三日月サイコーを目指した。</p> <p>1. 宣言目標「読書！笑顔！三日月サイコー！～本で友達とつながろう～」</p> <p>(1) 図書委員と全校児童とのつながり</p> <p>本の貸し出しを手伝ってくれる図書委員は下級生の憧れである。そんな図書委員と児童とのつながりを深めることで、図書室をより身近な場所へとできるよう取組を行った。</p> <p>①図書委員の顔写真つきでおすすめの本を紹介した。さらに、詳しくおすすめポイントを書いたカードもそえて、本と一緒に展示した。多くの児童が、図書委員おすすめの本を手にとって笑顔が広がった。</p> <p>②③④⑤（6月、11月の図書館祭りにおいて）</p> <p>1年に2度開催する図書館祭りは、図書委員も全校児童も楽しみにしている大きな行事の一つだ。曜日担当ごとに分かれて自分たちの企画を考え、ひと月もの間こつこつと準備を進めていく。クイズやしおりコンテストは人気企画の一つである。正解したり入賞したりすると、プラス貸し出し券やくじびきができるのも魅力だ。今年度新たな企画だった読書おみくじは、学年で先着25名ということもあり図書室には長蛇の列ができた。くじには、図書委員がセレクトした本の番号が記してある。その本を借りると大吉、中吉、小吉によって豪華な景品がついてくるしくみとなっている。普段自分では選ばない本を手取るよい機会となった。このように、図書委員と全校児童がつながることで、図書室が本を借りるだけでなく、人とのつながりを感じられる魅力ある場所へとなった。</p> <p>(2) 児童同士のつながり</p>						

		<p>今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、行事や活動を縮小せざるを得なかった。このようなときだからこそ、友達同士が読書を通じて心をつなげるような取組にチャレンジした。</p> <p>①「秋の読書運動会」を開催した。全校児童が運動会と同様の4つの団に分かれ、本の貸し出し冊数を競った。3週間の期間中、毎週得点版を更新したことで、自分の団の冊数を伸ばそうと意欲的に図書室へ足を運ぶ児童が増えた。</p> <p>②③④（6月、11月の図書館祭りにおいて）</p> <p>「貼り絵にチャレンジ」は昨年度も大人気の企画で、今年度も図書館祭りの期間中に行った。図書室のキャラクター募集と、ぼくの私のおすすめの本は新しい取組となった。</p> <p>図書室のキャラクターを全校児童に募集したところ、全校で236枚の応募があった。その中から図書委員が、三日月小学校の図書室にぴったりのキャラクターを選んだ。親しみやすいブックンは、さらに子どもたちのつながりを深めてくれるにちがいない。ぼくの私のおすすめの本では、“わくわくする本”“こわい本”“笑える本”などのテーマごとに、全校児童のおすすめの本を募集した。自分とはちがう、友達にとってのおすすめの本を知ることで、様々な感じ方や友達の新たな一面を発見できた児童もいた。</p> <p>⑤4年生国語科の「たしかめながら話を聞こう」の学習とリンクさせ、2年生におすすめする本の紹介を行った。4年生は、2年生でも楽しめる内容か、また、難しい言葉や漢字はないかなど吟味して本を選んだ。2年生は4年生の想いを受け取り、たくさん本とふれ合っていた。</p> <p>⑥4年生国語科の「くらしの中の和と洋」の学習とリンクさせ、図書室に子どもたちが手作りの“くらしの中の和と洋コーナー”を作った。自分たちが作った和と洋ブックとともに調べ学習で使った本も合わせて、他学年の児童にたくさん手に取ってもらうことができた。</p> <p>2. 継続している取組</p> <p>①「1人100冊運動」</p> <p>②4月恒例の新しく三日月小学校に赴任した先生のおすすめの本掲載。</p> <p>③自動車図書館「本丸くん」（小城市民図書館三日月館）による貸出（月1回）</p> <p>④「ムーンブック」地域の方々の読み聞かせボランティアによる朝の読み聞かせ</p> <p>⑤運動会、防災週間、敬老の日などのイベント週間に合わせた本の展示。</p> <p>⑥夏休みの読書記録。今年度は、小城市民図書館より配布の「家読ノート」を活用した。</p>
	<p>取り組んだ感想</p>	<p>図書委員の仕事は多岐にわたり、休み時間の活動も多い。始めは図書室に足が向かない委員もいたが、次第に大きく成長した姿を見せてくれた。これは、本を通して“友達とつながる”楽しさを実感できたからなのだと思う。図書室で本を通してたくさんつながりができ、笑顔の輪が広がった。子どもたちにとって、図書室はまさしく“三日月サイコー”な場所となった。</p>
	<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>今年度は貸し出し冊数こそ増加しなかったものの、「スクール読書チャレンジ運動」に毎年取り組むことで、確実に子どもたちの意識は変わってきていることを実感した。今後も、人と人とのつながりを大切にした読書活動を推進していきたい。</p>



## 取組内容

### 1. 宣言目標「読書！笑顔！三日月サイコー！～本で友達とつながろう～」

#### (1) 図書委員と全校児童とのつながり

##### ① 図書委員おすすめの本

図書委員のおすすめの本を、顔写真つきで掲示した。毎日、本の返却や貸し出しをしてくれる図書委員は下級生のおこがれ。そんな図書委員がおすすめしてくれる本は、下級生にとっても魅力的で、手に取る児童も多かった。



ここがおすすめ！



##### ② ぬり絵コンテスト

図書室にある本の中から好きなキャラクターを描いた作品を募集したところ、全校からたくさんの応募があった。優秀作品を児童玄関に掲示したところ、「この本私も好き」「やっぱり6年生は絵が上手だな」などの反響があった。

##### ③ 読み聞かせ

図書館祭り中の読み聞かせでは、対面にならないよう配慮し、動画を作成した。読み聞かせ担当グループは対象の学年に合わせて本を選び、登場人物の気持ちが伝わるように読み聞かせをした。子どもたちが大喜びで、繰り返し動画を見た学年もあった。何度でも見る点ができる点は動画の良さだった。



##### ④ 読書おみくじ

おみくじには、図書委員セレクトの本の番号が記されており、本を借りると三冊貸し出し券などのプレゼントがついてくる。あなたの運勢やいかに!!



大吉が  
出ますように!



##### ⑤ しおりコンクール

全校児童に、オリジナルのしおりを募集した。図書委員が審査を行い、図書室に掲示した。



(2) 児童同士のつながり



目指せ  
優勝!



①秋の読書運動会

運動会という大きな行事で一つになった赤・黄・白・青の各団。今度は、読書運動会にチャレンジ。優勝を目指し、各団で本の貸し出し冊数を競った。本を借りに来るたびに、得点版を見ては、「赤組が1番だよ!」と嬉しそうにする子どもたちの笑顔で、図書室も大いに活気づいた。

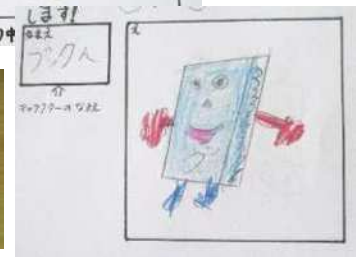
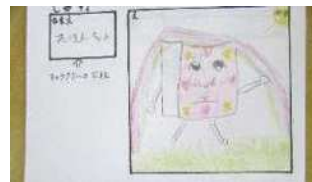
②貼り絵にチャレンジ

各クラスに大きな貼り絵の用紙を掲示。各クラスの児童が借りた本の冊数の色紙を持ち寄って貼り、クラスのみinnで協力して、絵の完成を目指した。



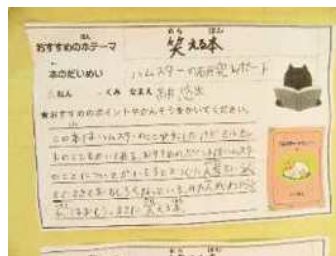
③図書室のキャラクター募集

図書室のキャラクターを全校児童に募集したところ、多数の応募があった。“ブックン”や“えほんちゃん”“本読む犬”など、親しみやすいオリジナルキャラクターがたくさん誕生した。選ばれたキャラクターは児童玄関前に掲示し、全校児童にお披露目をした。



④ぼくの私のおすすめの本

“わくわくする本”“こわい本”“笑える本”などのテーマごとに、全校児童のおすすめの本を募集した。「今日は笑える本を読みたい気分」というときは、このコーナーを見ればたくさんの笑える本に出会える。



⑤下級生へ向けたおすすめの本

国語科の学習とリンクさせ、4年生が2年生におすすめの本を紹介した。紹介された本を見て、「その本読んだことあるよ!」「あの本おもしろそう」など、子どもたちは目を輝かせていた。



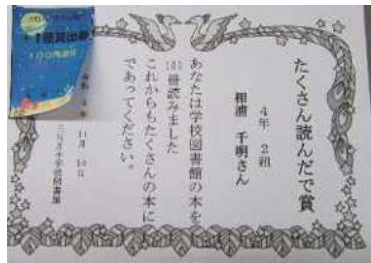
なつかしい！  
私たちもこの勉強したな～！！



⑥自分たちで手作りコーナー

4年生が、自分たちで作った「日本の良さを再発見！暮らしの中の和と洋ブック」を図書室に展示した。調べ学習で使った本も一緒に並べて、手作りの“暮らしの中の和と洋コーナー”を完成させた。

2. 継続している取組



①一人100冊運動

100冊以上の本を借りると、貸し出しカードがゴールドへと変わる。ゴールドカードに切り替わることを子どもたちは心待ちにしている。目標を達成すると、一人一人に賞状とプラス貸し出し券もプレゼントされる。

②先生のおすすめの本

4月に新しく来た先生のおすすめの本を児童玄関前に掲示した。「先生のおすすめの本さっそく借りてみたよ」などの会話がはずむ。

③本丸くんの日

1ヶ月ごとに巡回してくる自動車図書館“本丸くん”の日は、子どもたちが心待ちにしている。



④「ムーンブック」による朝の読み聞かせ

地域の方々の読み聞かせボランティアによる朝の読み聞かせを行っている。



⑤イベント週間に合わせた本の展示



⑥家読ノートで親子読書



小城市立図書館から配布される家読ノートの活用。

# 令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	小城市立晴田小学校 児童数 303人	担当者名	宮崎 和代 桃崎 敏子
住所	郵便番号 845-0002 佐賀県小城市小城町畑田2099	電話番号	0952-73-3226

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱については、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I.取組前の宣言内容

宣言	目標	みつけよう わたしだけの 本の宝箱
	取組期間	令和4年5月9日 ~ 令和4年11月30日

※令和4年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和4年11月30日までの取組みとする。

## II.取組後の評価

評価	取組人数	303人	実施日数	174日	読書冊数	27685冊	連携した団体数	3団体
	取組内容（概要）	<p>昨年度、図書室での貸し出し目標冊数（5万冊）が達成できた。読書冊数の少ない児童の読書意欲喚起のために、今年度は貸出冊数の目標を「低学年120冊 中学年100冊 高学年80冊」とし、学年に応じた読書量を確保することを目標にした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○読書の木の掲示…低・中・高学年の貸し出し冊数目標に達した児童の名前をみかんを模ったカードに記し、掲示を行うことで読書意欲の向上を図る〔資料1〕。</li> <li>○貸出冊数に応じたプラス券の配布・・・貸出冊数10冊毎に1冊貸出券を配布する。さらに、100冊毎に、プラス券綴りを配布し、読書意欲の向上を図る〔資料2〕。</li> <li>○読書の宝箱カード…読書の宝箱コーナーにある本を読破した児童に認定書を発行し、読書の質を高める。〔資料3〕</li> <li>○図書館まつり（年2回各2週間）…図書委員会主催でめりえ・しおりコンクール、読書ビンゴ、読み聞かせ会の開催、図書委員体験などに取り組む〔資料4〕。</li> <li>○教職員のおすすめの本の紹介文を掲示し、読書意欲の向上を図る。〔資料5〕</li> <li>○季節や行事、全校集会の話題にそった本の紹介…コーナーを設け、季節や行事に関連した本、「先生のお勧めの本」で取り上げられた本を紹介する。〔資料6〕</li> <li>○読み聞かせ（年7回朝の時間）を行う…地域ボランティアと育友会、幼稚園園長、教職員による読み聞かせ〔資料7〕</li> <li>○読書タイムの設定…朝の時間に読書タイム（10分程度）を設けている。〔資料8〕</li> <li>○小城市民図書館からの団体貸出（今年度は年1回）・移動図書館本丸くんを活用する（毎月）。</li> <li>○毎月発行する図書館便り・うちどくノートの活用・夏休みや冬休みや読書週間で、『うちどく』の勧めなどの家族読書への取組を推奨する〔資料9〕</li> <li>○学校便りや学級通信、全校集会での読書活動の啓発をする。</li> </ul>						
	工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「読書の宝箱」カード</li> </ul> <p>読書の宝箱コーナーの本の一覧が掲載されたカードを配布し、自分がどのような本を読んだのかを一目で確認できるようにすることで、目標を持って読書に取り組むことができた。</p>						

	<p>○図書館まつり</p> <p>図書委員会の児童が考えた本に関するクイズを給食時間に放送したり、図書委員体験会を開催したりした。全種類の分類番号の本を読むことを目標にした読書ビンゴを企画し、先生のお勧めの本の掲示物に分類番号を記載することにより、分類に関しても興味を持てるようにした。図書に関するぬり絵・しおりコンクールや、昼休みのお話し会開催など、多彩な催しを行った。図書委員会の児童や担任の呼び掛けで、多数の児童が参加することができ、本の楽しさを知る機会となった。</p> <p>○季節や行事、全校集会の話題にそったおすすめの本の紹介</p> <p>カウンターの前に「おすすめの本」を紹介するコーナーや、7月に「戦争・平和」コーナーを作るなどした。特に、全校集会で校長先生が紹介した本や、それに関連する日本の昔話の本を並べると、多くの児童が興味をもち、手に取っていた。</p> <p>○読み聞かせ</p> <p>高学年の児童も、集中して聞き、お話に浸っている姿が見られた。読んでもらった本を図書室で借りて読む児童が増えた。</p> <p>○読書タイムの設定</p> <p>朝の10分間を読書タイムとして設定している。児童は自分で選んだ本を静かに読んでいる。学力向上の一環として、読書をするることによって文字に慣れ、読む力を向上させるねらいももたせている。</p> <p>○小城市民図書館からの団体貸出・移動図書館本丸くん</p> <p>小城市民図書館より、2学期に1度団体貸出を受け、主に各学年の調べ学習の本の選書に重点を置いた。移動図書館本丸くんは、月に1度本校に来て児童への本の貸出をしてもらっている。5月には、1年生に向けてオリエンテーションを行い、本の魅力を伝えていただいた。</p> <p>○毎月発行している図書便り・読書カレンダーや親子読書の啓発</p> <p>新刊紹介、多読者紹介、調べ学習のステップなどの記事を載せた。調べ学習のステップでは、自分で本を探すときのコツや、索引の使い方、引用や出典等の著作権に関する説明をした。</p> <p>6月に、「うちどくノート」、長期休業前には「読書カレンダー」を配布し、『うちどく』を推奨した。また、夏休みと、11月の図書館祭りでは、図書便りに、家族読書に挑戦に挑戦する記事を設け、家族読書をしての感想を家庭から寄せていただくことにより、家庭との連携を図った。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>読書の習慣が身に付き、85%の児童が目標冊数に達成できている。これまでの積み重ねで読書を楽しむ児童の姿がいろいろな場面で見られた。感染症対策のため、本を借りに行くことができる時間が制限されているが、図書館まつりなどのイベントを行うことで、児童が本を身近に感じ、数多く手に取り、「図書館に行きたい。」「本を読みたい。」と思えるような図書館にできるように、図書委員会の児童とともに活動した。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>今後も、図書館まつりやおすすめの本コーナーの充実など、児童が図書館に行きたいと思うような工夫をしたい。職員のおすすめの本、自主学習に使える本などを紹介したり、読み聞かせの時間を計画的に行ったりするなど、全校での取り組みを行い、読書に関する関心を高め、本を身近に感じることができるよう、今後も全校で連携して、図書館の活動を充実させていきたい。</p>

## 〈活動内容〉

### 〔資料1〕晴田っ子 読書の木・プラス券綴り

低学年120冊、中学年100冊、高学年80冊の貸出冊数を達成した児童は、みかんのカードに名前を書いて、読書の木に貼らせるようにした。



低学年の木

中学年の木

高学年の木

### 〔資料2〕プラス券綴り

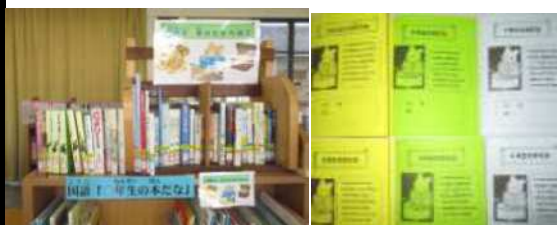
貸出冊数10冊毎に配布した1冊貸出券。  
100冊毎に配布した貸出券綴り。



1冊貸出券

100冊毎の貸出券綴り

### 〔資料3〕読書の宝箱コーナー・本の宝箱カード



学年に応じた  
良書のリスト

本の宝箱コーナーを設け、手に取りやすくした。学年毎に目標を定め、自分の読書の足跡が一目でわかるようにした。宝箱カードに書いてある本を手にする児童が増えた。

### 〔資料4〕図書館祭り



図書委員体験（貸出体験）



読み聞かせ会

図書館祭りの期間を6月と11月の各2週間設定し、図書委員会の児童が企画したイベントを開催した。

図書委員体験では、体験を希望した児童の中から抽選で各日3名ずつ貸出作業の体験を行った。体験をすることにより、本を借り借りる時のマナーについて考える機会になった。読み聞か

せ会では、紙芝居の読み聞かせを行った。図書委員が読み方を工夫していたので、読み聞かせ会に参加した児童は、物語の内容を楽しみながら聞くことができた。

### 〔資料5〕教職員のおすすめの本紹介



図書館の南北入口の2か所に掲示するとともに、図書館便りや給食の時間の放送で紹介した。図書館祭りのクイズでも、「先生のおすすめの本」に関するクイズを出題した。数多くの児童が掲示物の前で立ち止まり、「先生のおすすめポイント」を読んでいた。「〇〇先生のおすすめの本はありますか。」とカウンターで尋ねる姿も見られた。

**[資料6] 季節や行事、全校集会の話題に沿ったおすすめの本の紹介**



全校集会の校長先生の話で取り上げられた「ももたろう」の本から派生して、日本の昔話や世界の昔話の本を集め、コーナーを作った。低学年だけでなく、高学年の児童も興味をもって手に取っていた。

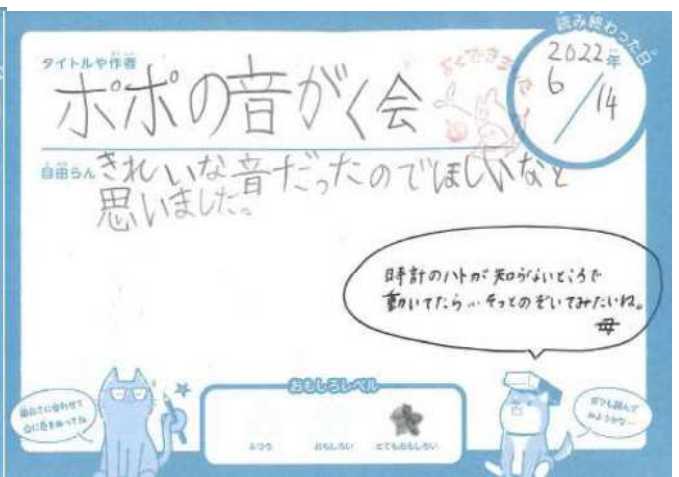
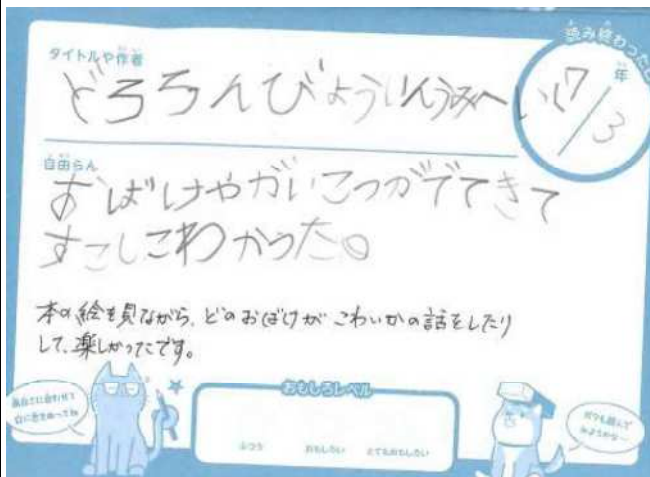
**[資料7] 読み聞かせ**



**[資料8] 朝の読書タイムの設定**



**[資料9] 家族読書に寄せられた声**



カズドクシヤ  
★★★ 家族読書 ★★★

3ねん [Redacted]

ほんのだいめい おはげがやうの1日

じふんのかんそう

子どもが「あおはけた」と書ておはげが子どもにきさいたところがあやひりました。

おうちのひとのかんそう

おはげを人前に出すのは生活をしていた。おはげおはげのせかいのおはげ乗るやうにたぬと言ったがら、おはげはあやひりました。

カズドクシヤ  
★★★ 家族読書 ★★★

3ねん [Redacted]

ほんのだいめい やねうらホテル

じふんのかんそう

はなは「かやねうらのホテル」であもしろをしてしつたりねえねえな1日時にてうらなつたけすけるてころかいよひじ

おうちのひとのかんそう

子供に読ませ聞かせけしつら1日たつた楽しき方をしました。その子が困っているというんは動物運成やてきて見付けてくれるところが いやさひました。

**貸出総数 5月9日～11月30日まで (175日)**

- ★全校貸出冊数・・・27,685冊
- ★一人当たりの貸出冊数・・・91.7冊

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、図書館に本を借りに行くことができる時間を制限していることもあり、貸出冊数の増え方は緩やかだが、できる取組を行っていくことで、図書館に行く楽しさ、読書の素晴らしさを感じている。



距離を取りながらカウンターに並ぶ様子

各学年における目標達成状況

学年	達成目標 (冊)	1人当たりの達成数 (冊)	達成率 (%)
1年	120	73.5	61.3
2年	120	100	83.3
3年	100	81.6	81.6
4年	100	106.6	107
5年	80	98.4	123
6年	80	85.7	107

11月30日現在



# 令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	嬉野市立 大野原小学校 大野原中学校 児童数 31 人	担当者名	児玉 美佳子
住所	郵便番号 8430304 嬉野市嬉野町岩屋川内丙 720 番地	電話番号	0954-43-0807

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I.取組前の宣言内容

宣 言	目 標	本から始める SDG s ～読んで、知って、かんがえる。あなたの未来わたしの未来～
	取組期間	令和4年 4月 12日 ～ 令和4年 11月 30日

※令和4年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和4年11月30日までの取組みとする。

## II.取組後の評価

評 価	取組人数	52 人	実施日数	140 日	読書冊数	3289 冊	連携した団体数	4 団体
	取組内容 (概要)	<p>1. 継続している取組</p> <p>①読書ノートの活用 ②読書感想文・画の課題図書への推進 ③単元に合った図書の購入と授業での活用</p> <p>2. 宣言目標「本から始める SDG s」</p> <p>①SDGs コーナー ②SDGs 関連本への表示 ③SDGs 本おすすめ POP 作成</p> <p>3. 各機関との連携、交流</p> <p>①絵本作家との交流 ②月刊誌の活用 ③おはなしボランティア、図書館との連携</p>						
	工夫したこと	<p>1. 継続している取組</p> <p>①読書ノートの活用…県民環境部まなび課からの読書ノートを年2回(夏季・冬季休業)配布し、休業期間中の読書の記録として活用している。</p> <p>また、学年ごとの教科書掲載の図書のブックリスト読書ノートを作成しており、1年間の読書目標を明確にし、読書の感想の言語化の強化を図っている。</p> <p>②読書感想文・画課題図書への推進…課題図書は全図書購入している。複式学級の特性を利用し、各教室に配架している。担任・児童も課題図書をすぐに手にとることができ、楽しんで読書してもらうよう読書リストへのシール貼りなど読書の頑張りを目で見えてわかるように工夫している。課題図書を選択した読書感想文・画への取り組みが増えている。</p> <p>③単元に合った図書の購入と授業での活用…タブレットと併用し、紙媒体の図書を活用した調べ学習の充実を図るため、単元に合った図書を積極的に購入した。廃版などで購入できない図書については、地域の図書館から借用するなどし、授業に図書を活用できる環境を整えた。</p> <p>2. 宣言目標「本から始める SDG s」</p> <p>本校では児童生徒会が中心となり SDGs への取組が行われている。SDGs に関心を持つ児童生徒が増え、SDGs の本の貸出しが増えた。</p>						

	<p>①SDGs コーナー…誰もがすぐに手に取って読めるよう、SDGs の本のみのコーナーを設けた。17 の国際目標について詳しく知りたいとの児童生徒の声があり 1 目標ごとに関連図書の掲示を行い、各週で掲示図書の変更を実施した。</p> <p>②SDGs 関連本への表示…関係する国際目標のシールを図書に貼り、国際目標の内容の明確化と SDGs への意識付けを図った。</p> <p>③SDGs 本おすすめ P O P 作成…中学生は、SDGs 本のおすすめ POP を作成した。小学生の作成した POP の中でも、SDGs に関する図書もあり、SDGs への関心の高さを感じた。P O P は校内掲示後、P O P コンテストへの応募を行った。</p> <p>3. 各機関との連携、交流</p> <p>①絵本作家との交流…ある縁から本校を知っていただいた絵本作家より、昨年引き続き本の寄贈があった。寄贈いただいた本で児童生徒による読み語りを実施した。今回は校内放送を利用し、話の内容を区切り 1 週間をかけて 1 冊の読み語りをした。</p> <p>話の内容が気になり、早く続きを知りたいため図書室で本を読みたくさんの児童生徒の来室があった。話の続きを想像して語り合う場面も見られ、とても楽しい 1 週間となった。</p> <p>今年は、本のお礼として、児童生徒のお礼の言葉を動画にして贈った。</p> <p>②月刊誌の活用…校長先生の知恵袋事業により、教科書に多く掲載されている月刊誌「たくさんのふしぎ」を購入している。また J A のご協力により月刊誌「ちゃぐりん」の寄贈をいただいている。両月刊誌ともに、児童生徒の関心が高く、貸出し冊数も多い。</p> <p>③おはなしボランティア、公共図書館との連携</p> <p>嬉野市内のボランティア団体に、月 1 回絵本の読み語りを実施してもらっており、今年度は人権に関する読み語りも実施された。</p> <p>うれしの図書館には、毎月、小学・中学校の各学年の希望に応じた配本をしてもらうことができた。また、「先生の思い出の本・好きな本」というテーマでは本校にない図書の貸出しを行ってもらい、充実した展示をすることができた。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>毎年継続して行っている取組にも改善や工夫を行い、継続して取り組めるような読書活動を心掛けた。先生方には、おすすめの本の紹介や P O P 作成に参加や、調べ学習の本を充実させ授業で活用してもらうことができた。児童生徒は、貸出しだけでなく休み時間の数分でも図書を手に取って読む姿が多く見られ、図書コーナーの設置場所、掲示や図書の紹介方法の工夫で読書への関心を引くことができることを実感できた。月ごとの掲示物への反応も多くあり、図書室への関心が高まった 1 年だった。</p>
<p>これまでの取組や 今後の取組予定</p>	<p>昨年のスクール読書チャレンジでは、今後の取組予定として、「質のある読書」を目指しての取組を挙げた。読書ノート等を活用し、本の内容の読み取りや感想を言葉にする力を付けることができていると思う。</p> <p>今後の目標として、タブレットや電子媒体が普及しているなかでも、図書や図書室を利用した活動や学習に、図書室利用の推進や紙媒体の図書を利用する良さや重要性を伝えることができる取組をしていきたいと思う。</p>

## 取組内容

### 1. 継続している取組

#### ①読書ノートを活用



佐賀県から配布の読書ノート

ブックリスト（教科書掲載の本）読書ノート

読書ノートへ読書の感想を記入すると担任等からのコメントやご褒美シールなどがもらえるようになっている。また、先生方による児童生徒への声掛け授業での活用などの働き掛けもあり、ブックリストの本の読書への取組が積極的にできていると感じる。

#### ②読書感想文・画 課題図書への推進



複式学級の特徴を活かし、各教室に課題図書を配架し読んだらシール貼ってもらっている。各教室での配架終了後は、図書室に設置している課題図書コーナーで展示をしている。他学年の課題図書を読む児童生徒も多く、課題図書への関心が高いと感じる。図書にも課題図書であることがわかる表記をしているため、貸出しの際に「今日は〇年の課題図書を借りたよ」と話す場面も見られる。

#### ③単元に合った図書の購入と授業での活用



小学校6年生、タブレットと図書を活用した調べ学習の様子。



小学校4年生、図書を活用した調べ学習とタブレットを活用した発表の様子。

## 2. 宣言目標「本から始める SDGs」

### ①SDGs コーナー



廊下に SDGs コーナーを設置した。移動教室や通行時にも、本を手にとって読んでいた姿があった。小学校低学年にも分かりやすい SDGs の絵本から社会や企業の取組まで様々な図書を掲示した。また、目標ごとに関連した図書も掲示し、各週で目標と関連図書を変更し、変化をもたせることで関心を高めさせた。

### ②SDGs 関連本への表示



17の国際目標に関連する図書に、該当する目標のシールを貼った。このことで図書とSDGsの関連付けができ、目標に対する具体的な理解と意識を持つことができた。

### ③SDGs 本おすすめPOP作成



中学生が、おすすめSDGs本のPOP作成を実施。小学生のおすすめ本のPOP中にもSDGs関連図書があった。どの作品もカラフルで個性豊かなPOPであり、全作品をPOPコンテストへ応募した。

### 3. 各機関との連携・交流

#### ①絵本作家との交流



読書祭のイベントの中で、寄贈本の校内放送による読み語りを実施した。声だけに集中して行う読み語りのため、声の大きさ、間、セリフなどいろいろなことを工夫しながら練習をたくさん重ね、本番の放送に臨んでくれた。特に、男子中学生の読み語りへの反響が多く、女性の声での読み語りを聞くことが多い中、とても新鮮な感覚があり、「お父さんによる読み語りとかやってもらいたい」などの声があがった。今年は、絵本のお礼として感謝の気持ちを児童生徒の声で伝えるため、動画 DVD を作成し贈った。

#### ②月刊誌の活用



「月刊たくさんのふしぎ」に対する関心が高く、小学生から大人まで幅広い年齢に貸出しがある。JA 月刊誌「ちゃぐりん」は、大野原の地域柄、お茶や野菜作りなどに興味のある児童生徒も多く、こちらも貸出しが多くある冊子である。

#### ③おはなしボランティア、公共図書館との連携



おはなしボランティア



「先生の好きな本・思い出の本」展示

へき地であるにも関わらず、学校まで来校いただいで読み語りは大変嬉しく、今回は人権に関する読み語りもあり大変よかった。

また、公共図書館からの配本により充実した図書環境を維持することができた。

# 令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	有田中部小学校	担当者名	井原 実紅 井手 由子
住所	郵便番号 844-0018 佐賀県西松浦郡有田町本町内 888 番地	連絡用メールアドレス	ce-book@town.arita.saga.jp

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I.取組前の宣言内容

宣言	目標	咲かせよう!読書の花! ~いろいろな本と出会い、友達にも伝えよう~
	取組期間	令和4年 5月 30日 ~ 令和4年 11月 30日

※令和4年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和4年11月30日までの取組みとする。

## II.取組後の評価

	取組人数	481 人	実施日数	104 日	読書冊数	22582 冊	連携した団体数	1 団体
評価	取組内容(概要)	<p>①おすすめの本一覧(咲かせよう読書の花)の配布</p> <p>②読書ノートを活用</p> <p>③「ドリーム」さん(保護者の方を中心とした読み聞かせのグループ)による月1回の読み聞かせの実施</p> <p>④図書祭りの実施(6月、11月)</p> <p>⑤おすすめポイント紹介カードの実施</p> <p>⑥学級文庫や調べ学習用図書の積極的な貸し出し</p>						
	工夫したこと	<p>【①おすすめの本一覧の配布】</p> <p>国語の教科書で取り上げられている本を中心に、いろいろなジャンルの本から学年に合った本を40冊ずつ選びました。図書室に学年ごとの棚を準備し、各学年色付きのシールを貼って、すぐに借りることができるようにしました。</p> <p>児童一人一人に、おすすめの本一覧(咲かせよう読書の花)を配布しました。本を読んだら、読んだ本の欄に日付を記入して、裏の読書の花に色を塗っていくことで、達成感が味わえるようにしました。40冊全て読み終わった児童のおすすめの本カードは図書室に掲示しています。年間を通しての取り組みですが、すでに全校で約87人の人がおすすめの本を読み終わりました。</p> <p>【②読書ノートの活用】</p> <p>梅雨の時期に合わせて、県から配布された読書ノートを配布しました。</p> <p>読書ノートチャレンジとして、全校で取り組み、読書ノートを書き終えた子どもには、賞状とプレゼントを渡しました。1年生は、まだ文章で感想を書くことは難しいため、本を1冊読んだら、シールを貼っていく活動に変えて実施しました。</p> <p>【③読み聞かせの実施】</p> <p>読み聞かせグループ「ドリーム」さんが、月に1回程度クラスごとに読み聞かせを行っていただきました。昨年と同様に今年度も感染予防対策をしっかり行っただうえで実施となりました。近くに集まって読み聞かせを聞くことは難しかったですが、子ども達の発達段階に合った本を選んでくださり、読み聞かせをしていただきました。昔話、民話、季節の本、英語の本などさまざまなジャンルの本の読み聞かせを聞くことができました。子ども達も毎回どんな本を読んでもくださるのか楽しみ</p>						

	<p>にしていました。</p> <p>【④図書祭りの実施（6月・11月）】</p> <p>毎年、年に2回の図書祭りを実施しています。図書委員会の子ども達が協力してイベントの企画、準備、運営を行いました。わなげ、本探し、辞書ひき、間違い探し、くじ、読書ビンゴなどのイベントを行いました。人が集まりすぎて密にならないよう、日によってイベントに参加できる学年を限定するなど、コロナ対策を行ったうえで実施しました。混雑するカウンターには、並ぶ目印になる線を貼って距離をとって並ぶことができるようにしました。図書祭り期間中は、多くの児童が図書室を利用していました。また、子ども達が借りた本の冊数に応じて、コスモスが咲いていく、「コスモスの花を咲かせよう！」というイベントを同時に開催しました。</p> <p>【⑤おすすめポイント紹介カード】</p> <p>今年度から始めた取り組みです。これまでに読んだ本の中から、全校の友達にぜひ読んでほしい本を選び、おすすめのポイントをカードに記入します。書き終わったカードは学年ごとに図書室に掲示しました。おすすめポイントを見て、その本を探して借りていく児童もあり、新しい本との出会いの場を作ることができました。</p> <p>【⑥学級文庫や調べ学習用図書の積極的な貸し出し】</p> <p>学級文庫用に図書室から貸し出しを行っています。図書委員会の子ども達と図書担当職員で、学年に合わせてさまざまな分類から本を選び貸し出ししています。普段自分では読まない本を読むきっかけにもなっているようです。学級文庫の本は、学期に1回のペースで入れ替えを行っています。</p> <p>学習内容に合わせて、「平和学習、環境、加工食品、昔話、〇年生が主人公」など学習用図書の貸し出しを積極的に行っています。学校の本だけでは十分でない時には、有田町の図書館から貸し出しをしてもらい、できるだけたくさんの児童が本を手にとって調べることができるようにしています。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>今年もコロナ感染予防対策のため子ども達は、入室時の手指消毒、貸出・返却のときは間隔をとって並ぶなどを守り利用していました。図書祭りでは感染予防対策を行いながら今年もイベントを実施することができました。図書祭り期間中は図書室利用者が約2倍に増加し、貸出冊数もその他の月と比べると全校で約1500冊増加しました。イベントを開催することによって、普段は中々図書室を利用しない児童が図書室に来るきっかけを作ることができてよかったです。年間を通して取り組んでいる「おすすめの本一覧（咲かせよう読書の花）」や「読書ノートチャレンジ」では、チャレンジを達成して、嬉しそうに図書室へと持ってくる子ども達もたくさんいました。少しずつですが、図書室の利用者や貸出冊数が増加していることをうれしく思います。また、今年度から取り組んでいる「おすすめポイント紹介カード」も多くの児童が参加をし、本の魅力を友達に伝えることができてよかったです。今後も多くの子ども達が図書室を利用し、たくさんの本と出会ってほしいです。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>おすすめの本一覧（咲かせよう読書の花）の取り組みを始めて4年が経ち、いろいろな分類の本を読む児童が増えてきた。今後は読んだ本を友達にも紹介していく取り組みにも力を入れていきたい。今後は、「おすすめポイント紹介カード」と紹介された本を同時に展示できる場所を作っていきたいと思う。</p> <p>今後も、読書ノートの活用や図書祭り(年2回)で働きかけ、いろいろな分類の本に興味関心をもってもらい、たくさんの本に出会って世界を広げていって欲しい。</p>

# 咲かせよう！読書の花！チャレンジ

4年前から始めた読書の花チャレンジ。国語の教科書で紹介されている本を中心にいろいろなジャンルの本から学年に合った本を選び、各学年40冊で挑戦しています。

「さかせよう！読書の花！」と各学年のおすすめの本一覧を両面印刷し、6月に子ども達に配布します。図書室には、おすすめの本専用の棚を設置し、学年ごとに整理して置いています。学年ごとに色つきのシールを貼り、自分の学年の本がすぐ分かるような工夫をしています。本の題名だけでは分かりにくいいため、どんな本か分かるように各本の表紙も一覧にして棚の横に掲示しています。おすすめの本を借りたら、そのとなりに読んだ日を記入し、裏の花にも色をぬっていきます。全ての本を読み終わり、裏の花が全てさいたらチャレンジ達成です。達成したカードは学年ごとに図書室に提出して集計をします。たくさん子どもたちがおすすめの本の棚をのぞきに毎日図書室に足を運んでくれています。子ども達は、あと「〇〇の本と〇〇の本で達成だよ」「早く〇〇の本返ってこないかな」など、意欲的にチャレンジに取り組んでくれています。今年は読むだけではなく、友達におすすめポイントを紹介する取り組みにもチャレンジしました。

## 本の表紙一覧（図書室掲示用）



表には  
おすすめの本一覧と  
読み終えた日を記入  
するスペース

裏には花が印刷され  
ていて、1冊読む度  
に花に色を塗ってい  
く。どんどん花が咲  
いていき、達成感が  
味わえる。

## さかせよう！読書の花！（児童配布用）



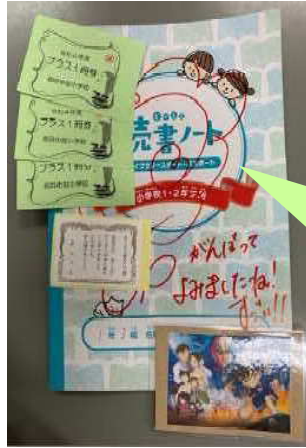
## おすすめの本の棚（学年ごとにシールを貼って分かりやすく整理）

おすすめの本の  
棚のすぐ近くには学  
年ごとの表紙一覧  
が貼ってあり、一覧  
表の本がどんな本  
かすぐ分かるよう  
にしてあります。





## 読書ノートで継続を!!

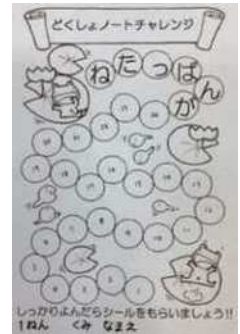


「プラス1冊券」をもらえるチャンス!!  
子ども達も意欲的に取り組み、たくさんの子どもたちが達成することができました。読書ノートは、年間を通して取り組みます。梅雨の時期に合わせて配ったため、外に行くことができない日には、読書ノートを書いている児童が多くいました。

達成した人には…

ミニ賞状  
プラス1冊券 (3枚)  
オリジナルしおり

1年生用  
(シールを貼っていく)



## 「ドリーム」さんによる読み聞かせ



月に1回程度朝の時間に、クラスごとに読み聞かせに来てくださいます。昔話、民話、季節に関係する本、外国の本などさまざまなジャンルの本を子ども達の発達段階に合わせて選び、読み聞かせを行ってくださいます。コロナ対策のため、近くに集まって聞くことはできませんが、子ども達は毎回、読み聞かせを楽しみにしています。

## コスモス図書まつり

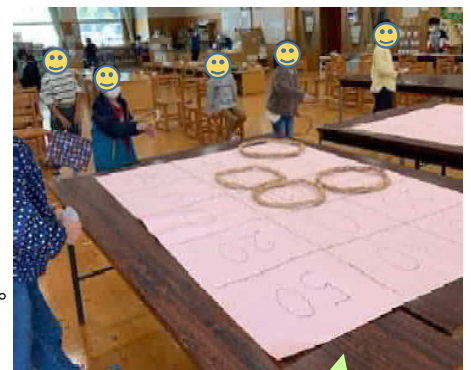
コロナウイルス感染予防を行い、図書まつりを開催しました。図書委員会の子どもたちが、人が集まり過ぎないように注意しながら内容を考え、準備をしてくれました。参加した子どもたちは、わなげや本探しなど図書委員会が考えた活動を楽しそうにしていました。学年ごとにイベントに参加できる日を決め、お知らせをしていたため、人が集まりすぎることはなく、図書祭りを開催することができました。

### 【イベント内容】

- ・本探し ・わなげ
- ・辞書ひき ・くじ
- ・間違い探し
- ・読書ビンゴ



くじ引き



わなげ

参加者にはプラス1冊券、  
最高得点を出した人には、さらに  
プレゼントが!

辞書ひき (3~6年生)



紙に書かれている言葉が辞書の何ページに載っているのか調べます。全問正解できるでしょうか？全問正解者には参加賞のほかにもプレゼントが！

辞書引き	年生	問題	答え
1	3年生	あまのこ	アマノコ
2	4年生	うさぎ	ウサギ
3	5年生	うさぎ	ウサギ
4	6年生	うさぎ	ウサギ
5	3年生	うさぎ	ウサギ
6	4年生	うさぎ	ウサギ
7	5年生	うさぎ	ウサギ
8	6年生	うさぎ	ウサギ



本探し

「〇〇」という本を探してください！最初はヒントなしですが、「これは絵本です。△の分類の本です。」などのヒントがでると・・・「あーあの本だ！」と分かったようです。

間違い探し



読書ビンゴ

ビンゴを達成するためには、さまざまなジャンルの本を読まなければなりません。普段は中々手に取らない本を借りるきっかけになりました。



コスモスの花をさかせよう！チャレンジ

図書まつり期間中、子ども達が借りた本の冊数に応じてコスモスが咲いていきます。

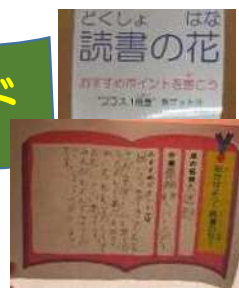


図書祭り期間中(2週間)全校で、2944冊の本の貸出がありました。たくさんのコスモスが咲きました！

昨年度より、305冊増加！

おすすめポイント紹介カード

今年度から始めた取り組みです。これまでに読んだ本の中から、全校の友達にぜひ読んでほしい本を選び、おすすめポイントを書き終ったカードは学年ごとに図書室に掲示しました。



おすすめポイントを見て、その本を探して借りていく児童もおり、新しい本との出会いの場となった。

# 令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	白石町立有明南小学校 児童数 100人	担当者名	木下 しおり・吉原 ゆかり
住所	郵便番号 849-1207 佐賀県杵島郡白石町大字深浦 5581 番地 1	電話番号	0954-65-4169

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I.取組前の宣言内容

宣言	目標	確かな読書力を身につけよう！ ～文字のある本にチャレンジ～
	取組期間	令和4年 4月13日 ～ 令和4年 11月30日

※令和4年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和4年11月30日までの取組みとする。

## II.取組後の評価

取組人数	100人	実施日数	120日	読書冊数	12,246冊	連携した団体数	2団体
評価	取組内容（概要）	<p>①継続的な来館を促す～「『ペーシ』と一緒に本の世界に出かけよう！」～ 「ペーシ」とは、図書室のキャラクターであり、『異世界人の「ペーシ」が本を読む旅に出かけていく。児童は読書をすることで、ペーシを知識あふれるものに成長させていく』という設定で、1年間の貸出冊数を達成してもらう。 ※写真①</p> <p>②読書量の底上げを図る取り組み～「3つ星めざして、本気でダッシュ！」～ 9月と11月を読書強化月間に設定し、学年ごとに1ヶ月間の貸し出し冊数を競い合う。1位の学年には、本校校長より賞状と賞品を渡してもらうこととした。11月は「リベンジ編」として、同じ取り組みを行った。 ※写真②</p> <p>③読書力につながる取り組み～「読書につながる楽しみ方はいろいろです！」～ (a)毎月1回、お話会「山びこ」のみなさんに、読み聞かせに来ていただいている。 (b)町の公共図書館から、毎月1回のペースで本を借用している。 (c)図書委員会の活動…ICTを活用した紙芝居ふうの読み語りやクイズ。 (d)子ども佐賀新聞を読もう！ ※写真③</p>					
	工夫したこと	<p>①図書室入口に一人一人の「ペーシ」画を掲示。貸出冊数に応じて、色づけをしたり、アイテムをつけたり、達成度を可視化。</p> <p>②ねらいとしては、図書室から遠ざかっている児童の来室を促すことである。明確な目標を提示し、特典を付与することで、全体のやる気を促した。学年ごとの目標冊数を数直線にした表を、図書室近くに掲示し、エールを贈る言葉を書いた付箋を貼ったり、途中経過を放送したり、児童の関心が続くように配慮した。</p> <p>③(a)地元のボランティアの方々が、学年に応じた本や季節を感じられる本を、やさしくていねいに読み聞かせをしていただいている。 (b)「ゆうあい図書館コーナー」としてコーナーを作り、破損等ないように、借りる時のきまりを掲示している。 (c)委員会活動では、1学期には、「ルラルさんのにわ」（いとうひろし作・ほるぷ出版）を題材に、パワーポイントを使って読み語りを行った。2学期は、タブレット</p>					

	<p>ト端末のスライドを使って、本の題名当てクイズを行った。準備から実行まで、ICT 担当の先生にも協力してもらい、「観る」「聞く」「考える」ことのできるイベントになった。</p> <p>(d)地元の佐賀新聞販売店さんをお願いをして、各学年に配布をしている。まずは新聞を身近に感じてもらうことが今年度のねらい。新聞からクイズを出す担任もいる。一般紙の切り抜きを紹介すると、読んでくれる児童が少しずつ増えてきた。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>年間を通じての目標を達成するために、期間限定のイベントをいくつか組み込んでみたところ、昨年度より図書室へ来る児童が増えた。たくさん本を借りたい児童には、迷路や数独を解くともらえるプラス1冊券が好評だった。②の取組については、期間が1ヶ月ということで、1回目の9月は、関心を持続させることに苦心した。当初の予定では、9月の1回のみでの予定であったが、児童から再チャレンジの要望があり、2回目のリベンジ編を行うことになった。児童の読書意欲を喚起したことで、ねらいであった読書量の底上げにつながる手ごたえを感じることができた。</p> <p>1回目は2年生が、2回目は3年生が1位になった。1位の学年には、校長より賞品を渡した。渡す際に一人一人に言葉を添え、児童がはにかみながらもとても嬉しそうな表情を浮かべていた。</p>
<p>これまでの取組や 今後の取組予定</p>	<p>これまでも貸出目標冊数を達成する取組は行ってきたが、今年度は、児童ごとのキャラを成長させていく設定で、読書推進活動を行っている。自分の分身が成長していく姿を見て、一人一人の読書への関心が昨年度よりも高くなっていると感じている。学校全体の読書活動がよりよいものになっていってくれることを期待している。</p> <p>また、本校は公共図書館まで距離が遠く、児童だけで行くことはできない。本の借用を心待ちにしている児童も多く、引き続き継続していきたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、地域ボランティアの方の読み聞かせが中止になり、急遽、校長がリモートで読み語りを行ったこともある。それをヒントに、今年度初めて ICT を活用した取組を行った。今後はどんなことができるのかを考えていきたい。同時に、絵本から長い読み物への移行期に、本の厚さに対して壁を感じないような後押し策を模索していきたい。</p>

写真

<p>① 「ペーシ」と一緒に本の旅に出かけよう！</p>	<p>全体の掲示</p>  <p>本の旅の設定を記したもの</p> <p>全校児童の掲示</p>	<p>貸出冊数に応じて進化</p>  <p>冊数ごとに獲得できる</p>
<p>② 「3つ星めざして、本気でダッシュ！」</p>	<p>第1回目 9月</p>  <p>校長先生からの表彰(2年生)</p> 	<p>第2回目 11月(リベンジ編)</p>  <p>校長先生からの表彰(3年生)</p> 
<p>③ 本の楽しみ方はいろいろです！</p> <p>【地域の力】</p>	<p>・お話し「山びこ」の読み聞かせ</p> 	
<p>【公共図書館の協力】</p>	<p>・ゆうあい図書館の貸出 4月から、のべ700さつほどの利用があった。借用するのは、 ・図書室にはない本 ・児童からのリクエスト (読み物やスイーツ本が多い) ・調べ学習用 などがある。</p>	 <p>本をかりる時の約束事を掲示</p>
<p>【図書委員会の活動】</p>	<p>・朝の時間に、電子黒板で鑑賞</p>  <p>出典『ルラルさんのにわ』いとうひろし作 ほるぷ出版</p>	<p>・タブレット端末を使ったクイズ問題</p>  <p>出典『スイミー』いとうひろし作 音楽之友社</p>
<p>【新聞に親しむ】</p>	<p>・子ども佐賀新聞を読もう！</p>  <p>3年生教室では、読んで答える問題がそえられている</p>	 <p>図書室では、新聞の読みどころをPOPで紹介している</p>

# 令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	太良町立大浦中学校 生徒数 80 人	担当者名	森 葵
住所	郵便番号 849-1613 佐賀県藤津郡太良町大字大浦丙1373番地	電話番号	0954-68-2029

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I.取組前の宣言内容

宣言	目標	本を好きになってもらう
	取組期間	令和4年4月6日 ~ 令和4年11月30日

※令和4年4月1日以降、各学校が取組を始めた日から、令和4年11月30日までの取組とする。

## II.取組後の評価

評価	取組人数	105 人	実施日数	128 日	読書冊数	4152 冊	連携した団体数	3 団体
	取組内容（概要）	<p>【夏休みにおすすめ本】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みにおすすめしたい本を生徒に書かせ、図書室前の掲示板に掲示。</li> </ul> <p>【本の川柳】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本についての川柳を生徒に書かせ、図書館祭り時に図書館内に掲示。</li> </ul> <p>【図書館祭り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本集めクイズ                      ・本パズル                      ・図書ビンゴ</li> </ul> <p>【環境整備での変化づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs コーナー</li> <li>・2024 国体スポーツコーナー</li> </ul> <p>→SAGA2024 国スポ・全障スポ太良町実行委員会と一緒に太良町開催のソフトボール少年女子の認知度を向上するためスポーツコーナーを設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パレットリーディング</li> </ul> <p>→色×気持ちで本を選ぶコーナーを設置し、今の自分の気持ちに合う本を選べるようにしている。</p> <p>【給食コラボ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食とコラボし、本に出てくる献立を給食に出してもらおう企画。本に出てくる料理を5品に絞ってその中で一番食べたい物を選び、生徒・教職員に投票してもらった。投票数の1番だった献立を3学期の給食にだしてもらおう予定。</li> </ul> <p>【昼休み終了前の読書タイム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs「質の高い教育をみんなに」に貢献するために、月・水・金の5分間読書を行っている。</li> </ul> <p>【読み聞かせ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学期毎に行う。1学期は人権擁護委員さんによる人権作文の読み聞かせを行った。</li> </ul>						

工夫したこと	図書室に来てほしいという呼びかけだけではなく、給食とのコラボや読書タイムを取り入れることによって、生徒が自分で本を探して読みたくなるような取り組みを目指した。
取り組んだ感想	<p>生徒は川柳の創作活動や図書館祭りの企画に楽しそうに取り組んでいた。本を読むことが苦手だと感じている生徒が図書室に足を運ぶ機会づくりとして、様々な取り組みを行ったことは、非常に効果的だったと思う。</p> <p>また、教職員だけでこのような取り組みを行うのではなく、生徒会の図書委員長を中心に、企画・運営をさせたことで、生徒主体の図書館教育ができたと感じる。</p>
これまでの取組や今後の取組予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食とのコラボについては、3学期に実際に出してもらう予定。</li> <li>・冬休みにおすすめの本紹介と、一年間で読んだ本の中でおすすめしたい本の紹介を生徒に書かせ、掲示する予定。</li> </ul>

※本報告書は簡潔に記述し、**A4 サイズ 2 頁以内**とし、**取組内容が分かる資料**（写真、イラスト、取組前後の比較データ等）を **A4 サイズ 3 頁以内**にまとめて、添付してください。

**報告書・資料の様式は PDF を基本**とし、他形式も可（復号化必要）としますが、一度にメール添付できる容量は **5 MB まで**ですので、これを超える場合は写真の解像度を落とす等の工夫をし、必要に応じ圧縮、分割送付などの処理をお願いします。

※県のホームページに掲載しますので、写真等は、「個人が特定できないもの」または「本人の了承を得ているもの」をお願いします。

### Ⅲ.応募する【提出期限：令和4年12月13日（火）】

実践報告書は、データ（PDF 版）で佐賀県まなび課まで電子メールにより送信してください。

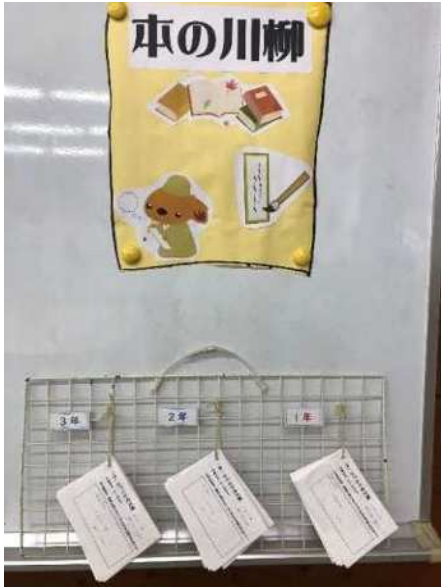
## 大浦中学校図書活動取組



読み聞かせ







本の川柳



2024 国体スポーツコーナー



廃棄本のおゆずり



パレットリーディング



読書タイム



学校給食とのコラボ

# 令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀県立 三養基高等学校 児童数 580 人	担当者名	古川 祿
住所	郵便番号 849-0101 三養基郡みやき町大字原古賀 300-1	電話番号	0942(94)2345

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I.取組前の宣言内容

宣 言	目 標	燃え上がれ三高魂～生徒図書委員会で読書活動を盛り上げよう～
	取組期間	令和4年4月11日 ～ 令和4年11月30日

※令和4年4月1日以降、各学校が取組を始めた日から、令和4年11月30日までの取組とする。

## II.取組後の評価

評 価	取組人数	582 人	実施日数	233 日	読書冊数	1518 冊	連携した団体数	4 団体
	取組内容（概要）	<p>①日頃の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒図書委員による図書館のレイアウト</li> <li>・「リクエスト本」調査</li> <li>・多読者賞</li> <li>・図書館だよりの発行（生徒図書委員による「教育実習生号」）</li> <li>・「新刊本」「本屋大賞」「芥川賞」「直木賞」等の紹介</li> </ul> <p>②文化祭「養基祭」での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「先生方のおすすめ Book」掲示</li> <li>・「POP コンクール」開催</li> <li>・「古本市」による雑誌の配布</li> </ul> <p>③学校行事での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生への図書館オリエンテーション</li> <li>・図書委員による校内読書会の実施</li> </ul> <p>④授業での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビブリオバトル大会</li> <li>・読書感想文・読書感想画</li> </ul> <p>⑤地域との取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みやき町立図書館「にくきゅう文庫」へのリクエスト</li> <li>・三養基高校生が作った POP と POP 立ての寄贈</li> <li>・みやき町立図書館より「中高生へのおすすめ本」の案内</li> <li>・みやき町立図書館「本で学ぼう SDG s」</li> <li>・九州大谷短期大学 POP コンテストへの応募</li> </ul>						
工夫したこと	<p>①日頃の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒図書委員のメンバーで「ミステリーコーナー」「小論文におすすめの本コーナー」「雑誌コーナー」の設置等を行い、高校生目線で、本の選定やレイアウトを行い、図書館に足を運んでもらいやすい環境作りを行った。</li> </ul>							

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方や、生徒に読みたい本をリクエストしてもらい、優先的に購入した。予算内で買えない本などは、みやき町立図書館で購入してもらった。</li> <li>・毎学期の多読者には、次の学期の貸出数をプラス1冊多くして、表彰した。</li> <li>・毎月、図書館だよりを発行し、「新刊本」「本屋大賞」「芥川賞」「直木賞」等の紹介をした。また、「教育実習生号」は生徒図書委員が教育実習生に「お薦めの本」をインタビューして作成した。</li> </ul> <p>②文化祭「養基祭」での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生に読んで欲しい本を図書委員が先生方にインタビューし、広用紙にまとめ、文化祭で「先生方のおすすめ Book」として掲示した。</li> <li>・図書委員で好きな本のPOPを作成し、文化祭で「POPコンクール」を開催。好きなPOPに投票してもらい、表彰した。</li> <li>・図書室で購入した雑誌で廃棄する分を「古本市」として、文化祭で配布した。</li> </ul> <p>③学校行事での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生への図書館オリエンテーションでは、図書室の使い方の案内と、「とにかく読もう」に掲載の本の紹介を行った。</li> <li>・図書委員が「討議の柱のワークシート」を作成し、各クラスで司会を務め、各学年の指定図書について、校内読書会を実施した。</li> </ul> <p>④授業での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生の「現代の国語」の授業でビブリオバトル大会を実施し、各クラスの「チャンプ本」をバトルで決めた。</li> <li>・読書感想文コンクールに応募した。美術選択者は、読書感想画にも取り組んだ。</li> </ul> <p>⑤地域との取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みやき町立図書館「にくきゅう文庫」へのリクエスト</li> <li>・三養基高校生が文化祭で作ったPOPと手作りのPOP立てを寄贈し、みやき町立図書館で利用してもらった。また、POPは「九州大谷短期大学POPコンテスト」へも応募し、優秀賞を受賞。</li> <li>・みやき町立図書館より「中高生へのおすすめ本」「本で学ぼうSDGs」の案内パンフレットをもらい、全員に配布。</li> </ul>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>生徒の多くは、日頃の勉強や部活動などで忙しく、なかなか読書に取り組むことができていない。しかし、「POPコンクール」や「ビブリオバトル」などの取り組みには関心が高いことが分かった。特に生徒主体の取り組みでは、高校生のアイデアが盛り込まれており、自主的に、楽しく取り組む姿勢が見られた。これからも、読書活動のみならず、様々な取り組みを取り入れながら、読書のきっかけを提供していきたいと思った。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>これまでに「BOOK POINT カード」を導入し、目標冊数に達した生徒には、雑誌などの付録をプレゼントする取り組みを行った。これからも生徒主体の取り組みを行っていききたい。また、地域の図書館と連携を図ることで、図書室を読書や学習、情報収集、心を癒やす場として活かしていきたい。</p>

### ①雑誌コーナー・ミステリーコーナー（図書委員の生徒が作成）



↑最新号が目にとまるように、入口を入ってすぐのところに設置。



手に取ってもらいやすいように、初心者向けや、実写化された本、人気のある本などを厳選し、特別コーナーを設けた。



### ②人気の本紹介コーナー



新刊本や本屋大賞、芥川賞や直木賞など、注目の本を集めてカウンターの近くに設置することで生徒が手に取りやすいようにしている。人気な本が多く、ほとんど貸し出し中の状態のこともある。

### ③文化祭「養基祭」での取り組み

本のPOPやPOP用のスタンド作成し、POPコンクールを実施した。多くの人が参加してくださった。また、先生方のおすすめBOOKについてアンケートをとり、まとめ、掲示した。先生方のおすすめ本が気になる生徒も多いようだった。



POP & POPスタンド↑



図書委員の活動の様子↑



古本市↑



先生方のおすすめ本とコメント↑

④学校行事・⑤授業での取り組み



校内読書会（各クラスで）の様子  
図書委員の司会により、活発な意見交換が行われた。



授業におけるビブリオバトル大会

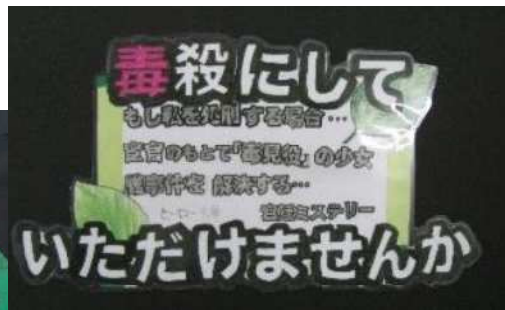
生徒のリクエスト本に responding to 「にくきゅう文庫」

⑥地域との取り組み



←みやき町立図書館へ↑  
文化祭の時に作成した手作りPOPとPOPスタンドを寄贈。  
大変喜んでくださった。

↓「九州大谷短期大学POPコンテスト」応募作品↓



入賞作品↑



☆今後も様々な取り組みを通して、生徒が図書に触れる機会を少しでも多く提供し、図書館に足を運んでくれる生徒を増やしていきたいと考えている。

# 令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀市立南川副小学校 児童数 201 人	担当者名	白坂 龍哉
住所	郵便番号 849-0937 佐賀県佐賀市川副町鹿江 647	電話番号	0952-45-0049

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I. 取組前の宣言内容

宣言	目標	いろいろな本に挑戦してみよう！ ～みんなで目指そう、一人平均60冊！～
	取組期間	令和4年4月1日 ～ 令和4年11月30日

※令和4年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和4年11月30日までの取組みとする。

## II. 取組後の評価

評価	取組人数	201 人	実施日数	243 日	読書冊数	21671 冊	連携した団体数	2 団体
	取組内容 (概要)	・子どもたちが、いろいろな種類の本をたくさん読んでほしいという思いをこめておすすめの本のコーナーを設けたり、おすすめの本の紹介を放送で紹介したりして読書への関心を高めてもらった。						
	工夫したこと	・図書館に行って本を借りにこない児童もいるので、なるべく多くの児童に本を借りにきて欲しいという思いをこめて6月と10月に「読書祭り」のイベントを行った。くじ引きやクイズなど、子どもたちが本に興味をもってもらう活動を行った。						
	取り組んだ感想	・読書祭りのイベントを行うことで、6月と10月の児童の平均貸出数が、他の月に比べて多くなった。イベントを通じて、本を読むことへのきっかけ作りができてきたのではないかと感じた。課題としては学年によって貸出数にバラつきがあることだ。学年が上がるにつれて貸出数が減ってしまうので少しでも貸出数を上げる工夫をしていきたい。						
	これまでの取組や今後の取組予定	・今年は「読書祭り」のイベントに加え、放送での本の紹介やクリスマスのイベントなども行って図書館の利用率を高めていった。これからは各学年にポスターとしておすすめの本を紹介したり、学年の掲示板に本のPOPを置いたりして読書への関心を高めるようにしたい。						

※本報告書は簡潔に記述し、**A4 サイズ 2 頁以内**とし、**取組内容が分かる資料** (写真、イラスト、取組前後の比較データ等) を **A4 サイズ 3 頁以内**にまとめて、添付してください。

**報告書・資料の様式は PDF を基本**とし、他形式も可 (復号化必要) としますが、一度にメール添付できる容量は **5 MB まで**ですので、これを超える場合は写真の解像度を落とす等の工夫をし、必要に応じ圧縮、分割送付などの処理をお願いします。

※県のホームページに掲載しますので、写真等は、「個人が特定できないもの」または「本人の了承を得ているもの」をお願いします。

## III. 応募する【提出期限：令和4年12月13日(火)】

実践報告書は、データ (PDF 版) で佐賀県まなび課まで電子メールにより送信してください。

○読書まつり「スタンプラリー」の様子



借りた本の題名の頭文字が、スタンプの台紙にあったらスタンプをおします。たまったら、本をプラス1冊で貸し出すようにしました。

○読書まつり「本の表紙パズル」の写真



クラスごとに本を借りて、パズルを完成させる取り組みを行いました。早くパズルを完成させたいと思ってたくさん本を借りる子もたくさんいました。

○読書まつり「図書館クイズ」の写真



図書館で、各学年向けにクイズを考えました。クイズに答えるためにお題の本を読もうとする子も多くいました。

○放送での本の紹介の様子



放送で、各学年におすすめの本を紹介しました。本の紹介を聞いて、その本に興味をもって借りにくる子もいました。



	4月	5月	6月	7月	8月	1学期計	9月	10月	11月	12月	2学期計	1月	2月	3月	3学期計	1年間合計
1-1	172	235	1543	532	214	2696	1113	946	802	0	2861	0	0	0	0	5557
2-1	573	680	962	229	40	2484	580	656	432	0	1668	0	0	0	0	4152
3-1	358	458	523	214	0	1553	302	499	406	0	1207	0	0	0	0	2760
4-1	281	381	429	159	14	1264	299	456	136	0	891	0	0	0	0	2155
5-1	268	338	459	193	0	1258	457	466	396	0	1319	0	0	0	0	2577
6-1	198	286	467	204	145	1300	356	381	314	0	1061	0	0	0	0	2361
6-2	167	245	529	171	59	1171	248	449	241	0	938	0	0	0	0	2109
合計	2017	2623	4912	1702	472	11726	3355	3863	2727	0	9945	0	0	0	0	21671

一人平均

1-1(29)	5.73	7.83	51.43	17.73	7.13	89.87	38.38	32.62	27.66	0.00	98.66	0.00	0.00	0.00	0.00	191.62
2-1(30)	19.10	22.67	32.07	7.63	1.38	82.80	19.33	21.87	14.40	0.00	55.60	0.00	0.00	0.00	0.00	138.40
3-1(33)	10.85	13.88	15.85	6.48	0.00	47.06	9.15	15.12	12.30	0.00	36.58	0.00	0.00	0.00	0.00	83.64
4-1(30)	9.69	12.70	14.30	5.30	0.47	42.13	9.97	15.20	4.53	0.00	29.70	0.00	0.00	0.00	0.00	71.83
5-1(29)	8.93	11.27	15.30	6.43	0.00	41.93	15.76	16.07	13.66	0.00	45.48	0.00	0.00	0.00	0.00	88.66
6-1(24)	8.61	11.92	19.46	8.50	6.04	54.17	14.83	16.29	13.08	0.00	44.21	0.00	0.00	0.00	0.00	98.38
6-2(24)	6.96	10.21	22.04	7.13	2.46	48.79	10.33	18.71	10.04	0.00	39.08	0.00	0.00	0.00	0.00	87.88
合計(199)	10.14	13.05	24.44	8.47	2.37	58.34	16.86	19.41	13.70	0.00	49.97	0.00	0.00	0.00	0.00	108.90

↑令和4年4月～11月までの合計貸出冊数と一人あたりの平均冊数です。

本年度の一人あたりの平均貸出数は108.90冊になりました。

# 令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	唐津市立厳木中学校 児童数 80 人	担当者名	山口 陽子
住所	郵便番号 849-3113 佐賀県唐津市厳木町牧瀬 328 番地 1	電話番号	0955-63-2531

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I.取組前の宣言内容

宣言	目標	中学生のときに、読み継がれてきた名作を ～読んでみたくなるキッカケづくり～
	取組期間	令和4年 4月 6日 ～ 令和4年 11月 30日

※令和4年4月1日以降、各学校が取組を始めた日から、令和4年11月30日までの取組とする。

## II.取組後の評価

	取組人数	106 人	実施日数	135 日	読書冊数	1,011 冊	連携した団体数	1 団体
評価	取組内容 (概要)	① 【図書だより】 ② 【環境づくり・掲示】 ③ 【選書】 ④ 【地域のボランティアさんによる読み聞かせ】 ⑤ 【先生方との連携】 ⑥ 【生徒会専門部 図書部 (15名) による活動】 ●おすすめの本の紹介…「放送による紹介(毎週1回、給食の時間)」 「掲示による紹介」「図書だよりの発行(各学年持ち回り)」 ●生徒集会での発表…「読み聞かせ(2年生)」 ●文化発表会…ステージ発表:「詩の題名クイズ」 展示の部:「文化発表会のテーマ“つなぐ”にちなんだ本の紹介」						
	工夫したこと	① 【図書だより】…名作に親しみを持ってもらえるよう、“間違い探し”や“書き出しクイズ”を用いて紹介した。 …あらすじだけでなく、作家の生い立ちや時代背景なども紹介し、イメージが湧きやすいようにした。 ② 【環境づくり・掲示】…新しく購入した本や、紹介したい本を、出来るだけ表紙が見える形で掲示した。多くの生徒の目に触れるよう廊下や踊り場にも掲示した。 ③ 【選書】…多くの生徒たちにどんな本が読みたいのか意見を聞き、読書が好きな生徒から苦手な生徒まで、みんなが図書室での本選びを楽しめるよう、選書を工夫した。 ④ 【地域のボランティアさんによる読み聞かせ】 …毎月、第1・3・5木曜の朝読書に時間に、各学年の教室で読み聞かせを行っていただいている。SDGsなど、昨今の世界の出来事について分かりやすく、且つ考えられる海外の絵本等も紹介していただいている。						

		<p>⑤ 【先生方・ボランティアさんとの連携】</p> <p>…ボランティアさんには、読み聞かせの後、本に込めた思いや生徒の反応などをファイルに記入いただき、担任の先生にお渡ししている。</p> <p>読んでいただいた本の内容について、担任の先生からクラスで話をさせていただくこともあり、より生徒の興味を引いていると感じる。</p> <p>…学期ごとに、クラスの貸出冊数、個人別の貸出冊数、図書室での様子を先生方にお伝えしている。</p> <p>先生方には、面談の際に保護者の方に伝えていただいたり、学級通信に載せてくださったりして、読書活動に協力いただいている。</p> <p>⑥ 【生徒会専門部 図書部による活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● おすすめの本の紹介…各自が読んだ本の中から、おすすめの本を紹介。 放送による紹介では、自分の声で直に伝えることで、本の魅力が伝わるようにした。</li> <li>● 生徒集会…図書部員が全校生徒の前で読み聞かせをした。 本のすばらしさが全校生徒の心に響くよう練習をした。</li> <li>● 文化発表会…ステージの部：全校生徒参加の「詩の題名クイズ(全5問)」を行った。楽しみながら詩に親しんでもらえるよう工夫した。 展示の部：5つの班に分かれ、それぞれが“つなぎたいもの” 「人」「命」「友情」「家族」「希望」にちなんだ本を広用紙にまとめて展示した。</li> </ul>
	取り組んだ感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生徒に“世界児童文学”の本をすすめると、「むずかしそう」「文字ばかり」と反応が返ってくることが多いが、普段から「イラストを見せる」、「あらすじを紹介する」など、ちょっとしたきっかけを作ることで、少しずつ「この本、聞いたことある」「読んでみようかな」という生徒がみられて嬉しかった。</li> </ul>
	これまでの取組や今後の取組予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 昨年度の文化発表会では「文豪クイズ」で作家を当てるクイズを行なった。今後も楽しく文学に触れてもらうきっかけを作りたい。</li> <li>● 今回の取組期間には実施できなかったが、生徒によるブックトークや群読も行っている。</li> <li>● 来年度は、点字本の紹介などにもチャレンジしたい。</li> </ul>

※本報告書は簡潔に記述し、**A4 サイズ 2 頁以内**とし、**取組内容が分かる資料**（写真、イラスト、取組前後の比較データ等）を **A4 サイズ 3 頁以内**にまとめて、添付してください。

**報告書・資料の様式は PDF を基本**とし、他形式も可（復号化必要）としますが、一度にメール添付できる容量は**5 MB まで**ですので、これを超える場合は写真の解像度を落とす等の工夫をし、必要に応じ圧縮、分割送付などの処理をお願いします。

※県のホームページに掲載しますので、写真は、「個人が特定できないもの」または「本人の了承を得ているもの」をお願いします。

### Ⅲ.応募する【提出期限：令和4年12月13日（火）】

実践報告書は、データ（PDF 版）で佐賀県まなび課まで電子メールにより送信してください。

中学生のときに、読み継がれてきた名作を  
～読んでみたくなるキッカケづくり～



① 図書だより

～紹介した本～

- ・『冒険者たち』
- ・『ドリトル先生アフリカゆき』
- ・『野生の呼び声』
- ・『しろばんば』 など



「間違い探し」



※ “間違い探し” は、(株)少年新聞社発行の「図書館教育ニュース」の中の、【このページはコピーして「たより」などにお使いいただけます】の記載があるものを使用している。

※ “書き出しクイズ” や、内容する紹介は、(株)岩波書店 岩波少年文庫や、(株)講談社「日本少年少女文学館」を読んで参考になっている。

② 環境づくり・掲示

図書室の展示

季節を感じる掲示物

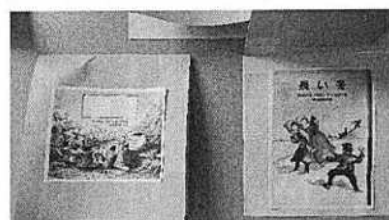
多くの生徒が通る場所に掲示



廊下の掲示「本のタイトル当てクイズ」



めくると答えが分かる！



③選書の様子

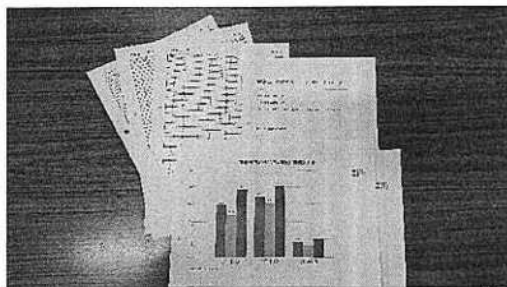
この本、1年生が絶対好きそう!



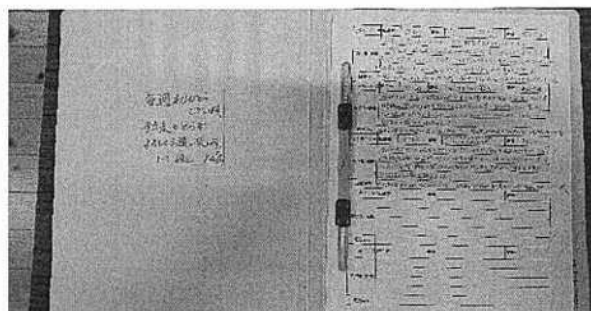
3年生はこっち♪

④・⑤先生・ボランティアさんとの連携

クラスの貸出冊数、個人の貸出冊数、  
図書室での様子。



ボランティアさんに記入いただくノート。  
担任の先生からのコメントも書いてある。

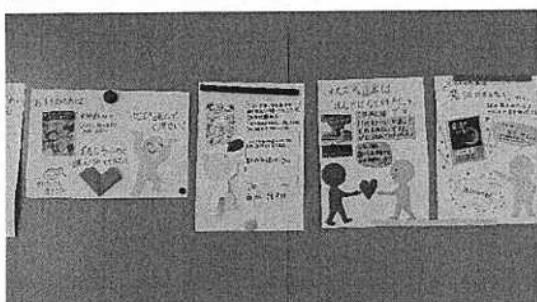


1年生の学級通信。クラスの読書の様子や、  
先生自身の読書経験、本の素晴らしさを熱  
く伝えてくださっている。



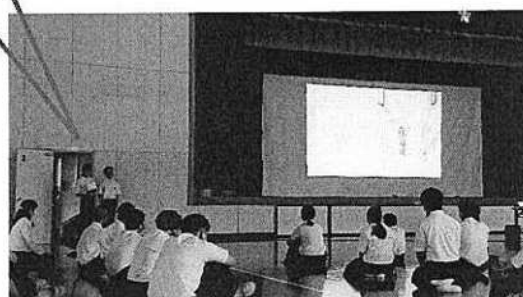
⑥図書部の活動

おすすめの本の紹介



緊張するー

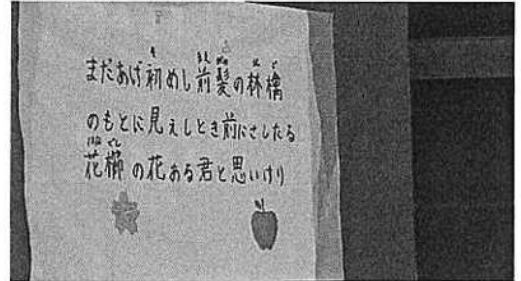
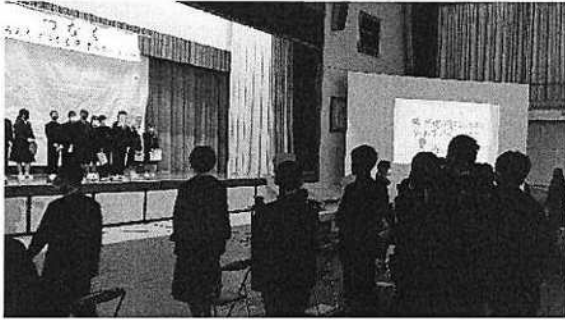
生徒集会  
読み聞かせ『たいせつなあなた』



⑥図書部の活動 文化発表会

「詩の一部を読みます」

ステージの部：「詩の題名クイズ」



「この詩の題名は、A～、B～、どちらでしょうか。正しいと思う方の札を上げてください」

やったー！  
正解

～クイズに出題した作品～

- ・『雨ニモマケズ』
- ・『月夜の浜辺』
- ・『こだまでしょうか』
- ・『初恋』
- ・『土』



展示の部：

『つなぐ』にちなんで選んだ本の紹介



# 令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	多久市立東原産舎東部校 児童数 310人	担当者名	荒木智子 渡辺暢子
住所	郵便番号 846-0012 多久市東多久町大字別府 3182	電話番号	0952-76-2007

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱については、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I.取組前の宣言内容

宣言	目標	もっと！ みんなで たのしく 読書に親しもう！
	取組期間	令和4年 4月 6日 ～ 令和4年 11月 30日

※令和4年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和4年11月30日までの取組みとする。

## II.取組後の評価

評価	取組人数	383 人	実施日数	143 日	読書冊数	29,101 冊	連携した団体数	3 団体
	取組内容（概要）	<p>1年生から9年生までみんなが読書に親しめるような取組を考え、実施した。</p> <p>【年間を通した継続的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標冊数の設定⇒達成時のプレゼント ・読書の星</li> <li>・読書ノートの活用（1～6年生） ・教科書の本を読んでみよう！（5～9年生）</li> <li>・環境整備（委員会活動による図書館マナーのポスター、季節ごとの展示など）</li> </ul> <p>【読書イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館まつり（夏）…スタンプラリー、宝探し、しおりづくり、くじびき</li> <li>・読書週間ミッション（秋）…図書館すごろく（1～4年生）、ブックビンゴ（5～9年生）、読書の木、先生たちのおすすめの本（協力：多久市立図書館）、にじいろ本棚（みんなのおすすめの本）</li> </ul> <p>【地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多久ロータリークラブからの寄贈⇒委員会からお礼のお手紙、授業での利活用</li> <li>・読み語り（サザエさんクラブ・毎月…今年度は10月より）</li> <li>・出張おはなし会（多久市立図書館・11月）</li> </ul>						
	工夫したこと	<p>【年間を通した継続的な取組】</p> <p>読書目標として、学年毎に目標冊数を設定している。また「読書の星」というシールを100冊毎（1～6年生）50冊毎（7～9年生）に貼って、達成感を味わえるようにしている。</p> <p>普段から読書に親しんでもらえるように、季節やニュースなどの壁面飾りや展示コーナーを作っている。昼休みの委員会活動では本の返却や書架の整理も行い、児童生徒と共に利用しやすい図書館づくりを心がけている。</p> <p>【読書イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館まつり（夏）…イベントの企画、準備なども委員会の児童生徒が中心となって実行した。スタンプラリーや宝探しは図書館だけではなく学校中にポスターを貼って、体も頭も使いながら全校みんなで楽しめるようにした。高学年の子ども達が、低</li> </ul>						

	<p>学年の子を楽しませようとがんばっている姿が印象的だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書週間ミッション（秋）… 1～4年生では「図書館すごろく」、5～9年生では「ブックビンゴ」と難易度を分けた。全校みんなで取り組める「読書の木」「にじいろ本棚（みんなのおすすめの本）」も企画した。「先生たちのおすすめの本」はどのような本があるのか児童生徒も興味深そうに手に取っていた。また校内の先生だけではなく、多久市立図書館の司書さんにもおすすめの本のPOPを書いてもらった。館内に所蔵していない図書は、多久市立図書館より借り受けたので、本の幅が広がったと思う。</li> </ul> <p>【地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2008年より毎年「多久ロータリークラブ」様から、図書を寄贈して頂いている。本校は「生と死を考える授業」を実施しているので、命や平和に関する本を主に寄贈してもらい、委員会の児童生徒がお礼の手紙を書いている。その図書は児童生徒が読むだけでなく、9年生が下級生へ行う「生と死を考える授業」でも活用している。</li> <li>・読み語りボランティア「サザエさんクラブ」による読み語りを月1回行っている（1～6年生対象）。感染症防止対策のため、今年度は10月からの実施となったが児童は楽しみにしている。</li> <li>・11月には多久市立図書館による「出張おはなし会」を行った。1・2年生を対象に開催したところ、クラス全員が参加し盛況であった。今後、他の学年でも実施予定である。</li> </ul>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>みんなで楽しく取り組めるイベントと、個人でコツコツがんばって達成する目標をバランスよく設けることで、楽しみながら読書に親しんでもらえたと思う。「先生のおすすめの本」や「みんなのおすすめの本」、そして展示コーナーなども、興味深く見て借りる子が多く、読書の幅が広がっていると感じる。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>図書館に来る児童生徒も増え、11月の時点で年間目標冊数を達成した子も多い。いろんな本を借りていく子、一冊ずつじっくり読み進めていく子、それぞれがいろんな形で読書に親しんでいる様子が見られてよかった。多久市立図書館による「出張おはなし会」は感染症防止対策のため学年を絞って行ったので、今後は他学年でも実施できるよう計画中である。今後も、児童生徒がいろんな本に出会えるような環境づくりに努めていきたい。</p>

※本報告書は簡潔に記述し、**A4サイズ2頁以内**とし、**取組内容が分かる資料**（写真、イラスト、取組前後の比較データ等）を**A4サイズ3頁以内**にまとめて、添付してください。

**報告書・資料の様式はPDFを基本**とし、他形式も可（復号化必要）としますが、一度にメール添付できる容量は**5MB**までですので、これを超える場合は写真の解像度を落とす等の工夫をし、必要に応じ圧縮、分割送付などの処理をお願いします。

※県のホームページに掲載しますので、写真等は、「個人が特定できないもの」または「本人の了承を得ているもの」をお願いします。

### Ⅲ.応募する【提出期限：令和4年12月13日（火）】

実践報告書は、データ（PDF版）で佐賀県まなび課まで電子メールにより送信してください。



## 【年間を通した継続的な取組】

### ・読書目標の達成に向けて

東部校年間目標冊数	
1・2年生	150冊
3・4年生	130冊
5・6年生	100冊
7・8・9年生	30冊



目標冊数を設定し、達成したら賞状を渡している。また、1～6年生は100冊毎、7～9年生は50冊毎に『読書の星』というシールを貼ることができる。「もうすぐ星2個になる！」などみんな楽しそうに挑戦している。(上:1年生/下:9年生)



【7～9年生】目標冊数を達成したら、カードのデザインを選べる。友達と同じがよいという子もいれば、みんなと違うのがよいという子もいる。



【5～9年生】「教科書の本」コーナーにある本を10冊読んだらしおりをプレゼント。今年度からの取組で、こつこつ集めている子もいる。

### ・普段から読書に親しめるような環境づくり



委員会活動で描いた「図書館のマナー」を呼びかけるポスター。本棚などに掲示している。

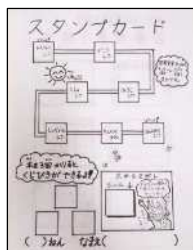


季節やニュースなどの壁面飾りや展示コーナー。子ども達もよく見ている。



## 【読書イベント】

### ・図書館まつり(6/6～6/17)…スタンプラリー、宝探し、しおりづくり、くじびき



委員会の5～9年生が作ったスタンプカードを持って、校内中に貼られた指令や謎解きをクリアしていくというイベント。みんな楽しそうにチャレンジしていた。




準備やスタンプ、くじびきの対応なども、委員会中心にがんばりました！低学年の子を楽しませようとがんばっている姿が印象的でした。



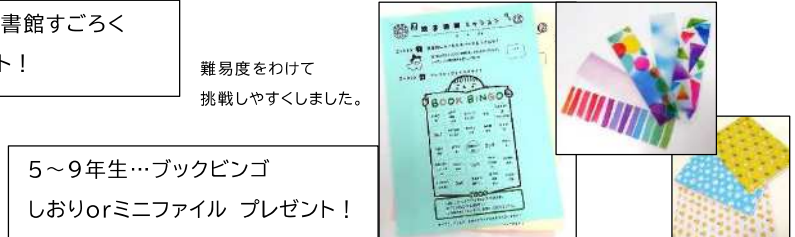
・読書週間ミッション(10/27~11/9)…図書館すぐろく(1~4年生)、ブックビンゴ(5~9年生)、読書の木、先生たちのおすすめの本(協力:多久市立図書館)、にじいろ本棚(みんなのおすすめの本)

1~4年生…図書館すぐろく  
しおりプレゼント!



難易度をわけて  
挑戦しやすくしました。

5~9年生…ブックビンゴ  
しおりorミニファイル プレゼント!








『先生たちのおすすめの本』  
どのような本があるのか興味深そうに手に取っていた。校内の先生だけではなく、多久市立図書館の司書さんにもおすすめの本のPOPを書いてもらった。館内に所蔵していない図書は、多久市立図書館より借り受けたので、いつもより幅広い本を紹介することができた。

『みんなで作ろう読書の木』  
学年毎に葉っぱ・花・木の実の色をわけて、読んだ冊数で木が成長していく。木の名前は公募により決定した。



9月末→11月末  
こんなに成長しました!

『にじいろ本棚(みんなのおすすめの本)』  
画用紙のハギレにおすすめの書名を書いて、本棚のように貼り付け、図書館前の廊下に掲示した。




たくさん書いてくれました!



## 【地域との連携】

『多久ロータリークラブ様』  
みんなで遊んでいます!






『多久ロータリークラブ』  
毎年、命や平和に関する本を寄贈してもらい、委員会の児童生徒がお礼の手紙を書いている。借りて読むだけでなく、9年生が下級生へ行う「生と死を考える授業」でも活用している。



『サザエさんクラブ』  
毎月第1火曜日の朝に1~6年生までのクラスで読み語りをしていただいている。児童も楽しみにしている。今年は感染症防止対策のため、10月からの実施となった。



『多久市立図書館』  
11/18に、1・2年生を対象とした出張おはなし会を実施。クラス全員で参加してくれて盛況であった。今後、他の学年でも実施予定である。また前述の『先生のおすすめの本』でもPOP作成などご協力いただいた。

